



Title	戦後北海道の共産党 -水落恒彦氏に聞く(2)-
Author(s)	今西, 一; 手島, 繁一; 手島, 慶子
Citation	小樽商科大学人文研究 (2013), 126: 61-141
Issue Date	2013-12-25
URL	http://hdl.handle.net/10252/5229
Rights	

This document is downloaded at: 2014-04-28T01:37:06Z



戦後北海道の共産党

— 水落恒彦氏に聞く(2)—

今 西 一
手 島 繁 一
手 島 慶 子

1 石島栄のこと

今西 この前お話したように、色々な方の戦後史を中心とした聞き取りをやっているんです。できればうちの大学の紀要に載せていただけると有り難いのですが、勿論本人が嫌であるならば載せません。激動の時代ですから、貴重な記録ですし、証言として残していきたい。そこのところは、その人の立場もあるし、何処まで公表していいかというところは、全く自由だと思っているので、草稿、下書きを見ていただいて、直していただいています。場合によっては公表をしないということを前提に、話を聴くということもやっているわけです。こういう記録をできるだけ沢山残しておきたい、というのがわたしの正直な気持ちで他意はありません。ひとつの立場でやるというわけではありません。私は反共産党という立場でもないですし、社会主義が崩壊してからも、ちゃんとした批判勢力をつくっていかないといけないと思っています。戦後やられてきた色々な運動の総括をきちんとやって、危険な方向に走っている政治を少しでも止められることができればと思っているだけです。少しでも埋もれている真実を公開したいとも考えているだけであって、それ以外の他意があってやっているわけではありません。自分が生きてきた時代のマルクス主義の運動が何であったのかを、自分なりに総括してみたい、考え直してみたいと思っています。自分の生き方の総括にもなるわけですが、

若い世代に自分がどういう時代を生きてきたのかを説くのは、自分の最後の責任だと考えています。

水落 山本さんにコーディネートをお願いしたのは、そんなに深い意味はないのですよ。わたしの立場では、黨員としては何処かの名簿には載っているけれど、役職があるわけでは無し、山本さんが心配するくらいで、除名になるのではないかと言うけれども、僕の方で情報として提供したものが、役立てられれば幸いだと思うし、わたしも棺おけに入るまでにあまり時間はないんだけれども、こういう場面を用意されて、脳みそに鱧をかけられて活性化されたかなと言うことはあるんですが、一般に共産党の中では公開していないけれども、僕が喋ったことは、だいたいが何処かで知られていることなんです。全体が知っているというわけではなくて、それは山本さんにも言ったんですよ。たとえば中野徹三先生の除名はおかしいだとか。そのことを問題にして議論すれば色々あるんだけれど、彼の除名の頃の様子を知っていたりね。そのことの評価は色々あるでしょうけれど。率直に物は言わせてもらっていますので。ただ、まずいという時にはオフレコかけますからね。話はここだけにしておいてくれとか。あとはほとんどないですよ。山本さんが心配しているくらいでないかな。

山本 僕が心配しているのは、体質というのは、死んで焼かれるまで変わらないものがあるから、党も組織としてあるから、僕自身が、ああいう会社において、そういう意味ではあまりたいしたことではないかもしれないけれど、そういうことって言うのはあると思いますので。僕が除名になっても、除名に値するものだとは思わないから。

水落 この間、直したところに山本発言がちらっと載っているから。人間のやっていることだから。皆さんのエネルギーには感服しました。手島夫人みたいに、喰らい就いたら離れない。この間、渡部富哉さんが、石島栄のことを、その一端を見たんだけど、やむを得ないと思うんだけど、石島夫人は、石島と結婚した頃はまだ二十歳で、その前の経験というのは父親についてもね、農村において、農民運動家だという意識はあまりないんだよね。

けいこ 桂子さん（石島栄の奥さん）の言ったことを真に受けているところがありますものね。

水落 そう思い込むけれども、たとえば、自分の父親が農民運動家なんだけれども、自分の知っている頃はもう街へ出て、社会党左派の人です。彼女が渡部さんに、父親のことを労働運動家だと語っている。僕の役目は、五十嵐久弥の父親が、明治の将軍と、昭和の将軍の山下奉文、シンガポールを攻めていって有名な将軍なんです。だから石島桂子さんも、そういう印象があると思うんですよ。将軍のね。知らないのは当然なんだけれど、だから僕らの役割は普通知っているものは、五十嵐久弥の父親が、山下奉文ではないと言うことは、年寄りにはわかるけれど。

山本 そんな噂があったんですか？

しげかず 聞き取りで、桂子さんが、そういう風に言っている。

- * 新谷商夫は労働運動家ではなく農民運動家だった。
- * 五十嵐久弥の父親は永山武四郎将軍である。加藤哲郎氏が石島桂子さんに聞き取りをした時、桂子さんは、五十嵐久弥の父親は山下奉文ではなかったかと答えている。

水落 渡部さんの方も、そういう風にはいかなかったと思うんだよね。

けいこ 聞き取りをしたのは、渡部さん本人ではなく、加藤哲郎さんという方が聞き取りをしたのです。

水落 歴史的に正確にするとっても。もし、あれがそのまま印刷物として出てしまうと、肯定してしまうでしょう。

けいこ ここに集まっている人は、何のことかわからないと思うので説明しますね。渡部さんがゾルゲ事件のことを調べていて、去年から石島栄の北海道時代のことを問い合わせてきていたの。今年入ってからまた問い合わせがあったんだけど、水落さんに聞いたらわかるんじゃないかと言ってきた。わたしが、最初に水落さんからの聞き取りしたものを渡部さんに送ったんですよ。そうしたら、こういう古い方であれば、石島のことを知っていると思うから訊いてくれと頼まれた。それで、水落さんに訊いたら、戦後間もなく

北海道に入植して、弟さんが「ナウカ書店」に関係していたことから、石島栄も「ナウカ書店」に入ってということを知った。それを、渡部さん経由で加藤さんに送った。早速加藤さんが「ナウカ」に問い合わせをしてくれて、石島栄の奥さんの桂子さんが生存していたとわかった。桂子さんのインタビューを渡部さんが、メールでわたしに送ってくれた。それを水落さんに見てもらったら、やはり間違いがありますよということだったの。

水落 あの時代の歴史的なことを、ある事実がどうなのかということは結構手間のかかることなのさ。

しげかず 彼女が水落さんのところに送ったのは、何も脚色をつけずに、そのまま聞き取ったものを送ったんですよ。前回の聞き取りも同じで、このところ間違っているのではないかと、削ったらいいのではないかとすることも含めて、聴いたものをそのまま起こして皆さんのところに送っている。だから、校訂の過程はこれからなんですよ。山本さんの冗談みたいなもの全て文字起こしている。その方が皆さんが検討する際にわかり易いでしょう。言った、言わないということにならないから。だから聞き書きというのは、最初はみんな文字起こすんですよ。山下奉文っていうのは、多分、佐賀出身の永山の婿なんですよ。それと間違えている可能性がある。山下奉文の奥さんの山下というのは佐賀県出身の人で、山下奉文は皇道派です。2・26事件の後処理で前線に飛ばされているんですよ。字も永山なんですよ。それと混同している。武四郎と山下將軍を混同している。

今西 余談になったりすることを、気にされているんですが、それはあまり気になさなくて結構です。どんどん喋っていただいて、これとこれは公表させていただくということによろしいでしょうか。

水落 わたしの方から公表するとか。もう、衝突する気はないんですよ。一応、党員名簿に載っている人間ですから。これは公表、これはオフレコという物は何もないんですよ。公表する時には、その都度言っていただいて。率直に言って、僕、字が見えないんですよ。それで、週に2時間くらいのアシスタントを雇って、ずらーっと読みあげてもらったの。この間いただいた

ものには、三角をつけておいてとか。凄く時間がかかるんですよ。音を文字に変えていく作業も大変だと思うんですよ。今年は何回くらいやるかとか。せめて今年一杯くらいの目途でとか。

2 北海道の「50年問題」

今西 まず水落さんの50年の頃の役職を教えてください。

水落 北海道地方委員会、北見委員会、地方委員会と言うのは東北6県を合わせて、北海道はちょうど橋下さんが、大阪府と大阪市を一緒にしてみたいな、北海道は北海道地方委員会なんだけれど、東北のように下に府県がないんですよ。格をつけておいて、下に網走地区とか、紋別地区とか。それを包括する委員会として北見地区委員会というのがあった。村上国治が札幌の委員長だった。

* 村上国治が就任した札幌委員会委員長というのは、党分裂後に任命でなった。

今西 だけど、村上は札幌の委員長でもあったけれど、軍事委員会の委員長でもあったんでしょう。

水落 札幌の委員長として選出したわけではないんですよ。要するに上からの任命制でね。

今西 ビューローですよ。吉田四郎がビューローの責任者ですよ。

水落 割れてからね。

今西 吉田は志田重男派でビューローの責任者だった。

水落 彼が来たのは1949年か、50年分裂の前です。コミンフォルムの野坂批判が出てないから、分裂自体を予想することはなかったんですよ。北海道地方委員会のメンバーに入って。初めに来たのは全国オルグかなんかですよ。

しげかず 吉田四郎が「運動史研究」第4号に、インタビューに答えている。1949年に北海道オルグとして北海道に来たと。その後、オルグというのはやめて、機関に属すという決定を受けて、北海道委員会の人間になった。

水落 全国オルグという形で何人かが北海道に来たんですよ。分裂前は選出されてなったんですよ。

今西 吉田四郎の前は？

しげかず 西舘仁です。

水落 50年分裂の前。初代が武内清で、二代目が中川。それも病気ですぐに死んで、三代目が西舘。分裂当時まで、西舘さんが委員長。50年分裂で、わんわんわんわんになって、吉田四郎が中心になって、西舘さんを下ろしたというか。その後に委員長になったのが。

今西 村上由（ゆかり）ですか？

水落 いや、あの人はならないんだ。重鎮ということもあるけれど、ある意味では瓢箪なますみたいなものだから。そういう時に采配振るうにはいかないんだよ。村上由さんは。

しげかず 武内、中川、西舘、佐貫の順です。

水落 50年分裂で騒いで、西舘さんが、佐貫があまりろくなことをしないで、本当に割れて、所感派のビューローになったのは、佐貫の後なんですよ。吉田四郎ね。やはりたてまつられる素質はあるの。陸軍士官学校を途中でやめた。俺より二つ年下で身体がでかく巨漢という感じで、間違っているけど、「進め」とか、すばっと、それが凄くはっきりしているんですよ。右にするか左にするかとうろろうろしている時に、わりと古い人っていうのはすばっとならないわけ。とにかく進めなら進めね、陸士出でもろくでもない奴もいるけれど、あれが人気のあるところだったんだね。これは俺の評価だよ。

今西 切れ者は切れ者だったんですね。

水落 間違ってもね、即決即断をやるんですよ。情勢がごちゃごちゃごちゃごちゃしてわからないでしょう。大阪の橋下のように、すばっと。明快なの。後で批判を受けてごたごたになった時は、可愛そうなくらい混乱していたけどね。分裂の時は混迷の時だからね。彼につく奴も多かったんですよ。それで、佐貫というのは西舘さんの後になったことはあったんだけど、右か左がはっきりしない男なのさ。

今西 佐貫さんは労働運動出身なんですか？

水落 何だろうな。割とそういうこと知らないで、5年でも10年でも付き合っているんですよ。経歴書でも見れば別だけれどもね。

今西 出身は北海道ですか？

水落 北海道。前に出たのが宮川寅雄です。

しげかず あの人も一緒に来たの？

今西 あの人は産別会議ですね。

水落 北海道に何で来たかと言うと。

今西 戦前は武装共産党のメンバーですね。

水落 北海道に来て何をやっていたかということ。

しげかず 化学単一の責任者です。インターネットで和光大学の国分誠一100周年の記念行事が掲載されているのですが、その時、宮川寅雄さんの長女が来て、2回に亘って話をしているのね。長女さんの話だから戦前の話は全くなくて、戦後、北海道の納内に居住していた。

水落 だから、その納内で何をしていたのかということ。

しげかず 娘さんだから、父親が何をやっているのかわからないんだけど、年に1回か2回家に帰ってくるくらいだったと言っている。化学単一労組は。砂川の三井化学だね。

今西 そこに勤めていたんじゃないですか。そこで労働運動をやっていた。

水落 納内の部落で暮らしていたことは事実ですよ。

今西 宮川寅雄はその後、国際派で除名されるんですよ。

しげかず 柄沢とし子と一緒に除名されるの。

今西 柄沢と同じだとされています。

水落 柄沢はいつ除名されたの？

しげかず 1952年かな。

今西 広谷俊二が1953年くらいに、宮川寅雄と柄沢とし子の批判をやるんですよ。

水落 53年と言ったら、分裂状態だよ。

しげかず 50年の1月に山田宗睦が除名されている。52年の11月に柄沢とし子。宮川寅雄と一緒にです。

水落 51年に割れた方の四全協があったのかな。

今西 51年は51年綱領だから、五全協でしょう。

水落 俺が外れていくのは四全協の時かな。だから除名申請の主体というのが、既に分裂した四全協の系列の中の。

今西 吉田を中心とした。

水落 俺の場合は首を切ったり、幽閉するという目には遭わなかったんだけど、四郎がキャップになっているとは思わなかったの。あの頃、徳田球一を、おやじさん、おやじさんて、言うものだから、都道府県のキャップをおやじさん、おやじさんて言っていたの。地区委員会のキャップもおやじさんて呼んでいたらしんだよ。あんちゃんがおやじさんて呼ばれているんだよな。俺が出ていったら、四郎が威張って座っているのさ。「おやじってお前か」って言ったら、憤然としたけれどね。俺より二つ下で弟分だったから。50年分裂の前に騒いでいる時は、柄沢とし子が俺の横にいて、攻撃をうんとされるんだよね。

今西 何で攻撃されるんですか？

水落 柄沢さんは、四郎やなんかが、まだ割れてはいないけれど、武装闘争めいた先鋭なあれを提案してくるんだよね。柄沢さんはやっぱり国会議員をやっているし、社会的な感覚を持っているから、意見があわないわけ。ましてあの時はコミンフォルム声明が出て、割れるわけだよね。非難応酬が、「くそババア」だとかさ。またチンピラみたいなのが子分になってしまうんだよ。不正常な時はね。俺が黙っていたら、柄沢とし子が隣で、「水落君、君どうなんだ」と詰められたんだ。俺が東京に出た時がコミンフォルムの野坂批判が出たばかりで。

今西 柄沢さんとか宮川が国際派だったのはご存知でしたか？

水落 俺はわからないの。国際派と所感派に両股かかっていたんだよ。東京に入った時にコミンフォルムの声明が出て、一発聴いた時にはがたがたもめ

ていたね。本部の二階から伊藤律が降りてきてさ、聴いた時はもっともだったんだよ。たかがコミンフォルムが、日本は日本だと。(暴力革命でなくて) 議会活動だと。そのまま行けば良かったんだけど。それを聴いて、宮本派の学生がピラだとか。そういう印象があるもんだから、感激したら、又ひっくり返ったでしょう。そういうものがあるものだから、北海道地方委員会でもめた時に、伊藤律の演説聴いたやつはその時いたのかなあ。ちょっと記憶がないんですけど。初めて律が気炎を挙げた時に、僕は影響されたのさ。もっともだと。それは志賀義雄も宮本も。インテリだからさ、ちょっと考えたらおかしいと。その瞬間はちょっと所感派に酔いしれたんだわ。四全協は五全協ほどはっきりと明文化されてはいなかったんじゃないかな。所感派、武闘派ではないと言うものを、まるっきりゼロにはしないわけさ。北海道内でも北見の方から十勝の方に入って、例の至急旭川に來いという罫の指令がでた(旭川火災瓶事件)。それで半年(刑務所に)入っていて、で、出て来て、吉田四郎の指図もあるんだけど、たとえば教育部つきとかいう形にして。役目が51年綱領の解説だとか、いい加減にはしたけどね。生徒に所感派の偉い人がいるわけ。ろくに教えはしなかったと思うんだ。だから何となくということ、北海道から追い出すわけにもいかないしさ。六全協が近くなる頃には、そろそろやばくなってきているでしょう。徳田の30周年記念論文というのは、武装闘争はやめろという趣旨だから。スターリンと徳田が死んでどれくらいあるかな。1952年の創立30周年記念論文は、方向転換の論文なんだけど、方向転換と受け取っていなかった奴もいるんじゃないかな。俺は吉田四郎政権を傍から倒す役割みたいになっていたの。それを攻撃するために、あの手この手でやってきたんだけど。北海道は分裂して所感派の系列が、支配権を握っていたから、それに服従したのはいっぱいいたんですよ。六全協が出てから頭を出してきた人もいるしね。

3 白鳥事件前後

今西 その前にスターリンが死にますよね。

水落 そうそうスターリンが死にます。スターリンと徳田が死んだ。何年かあるのかな。徳田の頭の方にあるでしょう。側近が色々やっているんだろうけど。基本的には1952年のいわゆる創立30周年記念論文を、方向転換の論文なんだけど、方向転換と受け止めていなかった者もいたんじゃないかな。それから2・3年くらい動揺する。六全協の頃に入っていくというか。俺はその間の扱いというのはどういうのかな。吉田四郎の政権を外側から倒すみたいな役回りになっていたの。それを攻撃するために、あの手この手でやってきて。北海道は分裂して行って、所感派の系列が圧倒的に支配権を握っていたから、結構それに不服従ってのは一杯いたんですよ。六全協になってから頭出してきた人もいるしね。少し早く死んじゃったけど、伊藤謙だとかね。豊島俊男さんが朝鮮から帰ってきて、その頃室蘭にいたかな。外の方から転換の活動家でね。力出した人も一杯いるんですよ。

今西 白鳥事件を聞いた時は、共産党の暴走だと思われたのですか？ それとも権力のでっちあげだと思われたのですか？

水落 両方です。僕の立場はこの間もお話したけれども、中核自衛隊とかそんなことやっても、むこうさんのレベルと全然違うんだもの。横目でしか見ていないけれど。竹やり作ってみたり火炎瓶作ってみたり。われわれの年では機関銃を持ってやれてっていわれたら、やるくらいのあれは持っていますからね。それから拳銃はあんまりやらなかったけれど。敵弾投とかね。小銃の実弾なんかの操作はやりますから。でも僕が直後に聞いたのでは、確かに白鳥警部を追って行って、拳銃を発射した人間がいることは事実だけれど、それ一人かどうかっていうことは。諸説が出ていたんですよ。

今西 共産党の道委員会の声明についてはどうですか。

水落 最初のは。われわれだってそうですよ。朝起きて、白鳥が殺されたっていうのは。村上国治だって何考えていたもんだかね。背後に似たようなこ

とをやっていたのはいるわけ。実弾演習やったり、実弾持って白鳥を追いかけた者もいるし、それを上回るようなものもあるような気もするの。その日に流れた現場情報でも。

けいこ 1 回目の聞き取りの時、白鳥事件の翌日に札幌に着いたって言っていましたよね。白鳥事件が起きた現場近くで会議をやる予定だったと。だけど現場が近かったので、違うところでやったと。会議は何処でやる予定だったのですか？

水落 あの近くに党員の色々な人いますから、結構いいお屋敷持っているとか、そんな党员もいたんですよ。

けいこ 寛中さんとうい家ではなかったですか？

水落 寛中のうちではないわ。

けいこ 南6条の西17丁目なんですけど。

水落 もっと北の方だな。予定していたのは。

けいこ 水落さんは寛中さんという人はご存知なの？

水落 ずっと後からです。いや、その本人でなくて、その子供。

けいこ 子供さんが党の関係者だったの？

水落 かもね。あんまり接触ないの。そしてずっと経って。六全協過ぎてからでないのかな。その子供さんと会って、何か話をして。

けいこ 何のことでお会いしたのですか？

水落 文化関係のことをやっていたのではないかな。

けいこ 寛中さん自身は何をやられていたのですか？

水落 事業をやっていたんでない。

けいこ 「登川炭鉱」を経営していたと聞いていますけれど。それなのに札幌にお住まいだったのですか？

水落 経営者として札幌に住んでいたかどうかはわからないけれど、経営をやっていたことは子供を通して知っていた。

今西 白鳥だけではなくて、その頃、赤ランプ事件なんかは共産党が指導してやった事件だということは知っていたのでしょうか。その事件は共産党の軍

事行動だとわかっておられたのですか？

水落 末端のことはね。紛らわしいことはやっているのさ。俺達みたいな面から見たら、まるきり軍事作戦とかさ、人民艦隊とかさ、トラック部隊とか。権力側の態勢から見たら、力んでるのは力んでるか知らないけれど。われわれだって若い頃は軍事問題とか、実弾射撃ぐらいやるくらいは持っているから。四全協出た頃かなあ、山岳主義とか、要するに毛沢東とか、山にこもってそれを土台に農民兵を育成して、次第次第に勢力を広めるでしょう。四全協では山岳主義じみた方針が出たんだよ。その時、全国オルグで、読売争議で首になった奴で山根っているんだよ。あれもどこかで追い出されたと思うんだけど、四全協の前後くらいかね、何かの会議で俺と山根が。俺は正しいかどうか実験すると言って、北見の置戸の方から、あそこ山脈の何とか山っているのがあるんだよ。二人して山にこもって何かできるかどうか実験しようと言って登ったの。金がなくても人民の信頼があれば何でもとれるという方針を言うから、でもだんだん行ったら人間もいないでしょう。若いオルグ一人つれて。金がないから紙芝居の道具を持って、置戸の部落で俺が一所懸命紙芝居やって。子供しかいないから、それでも材木工場の主人が気の毒がって泊めて飯食わせてくれてさ。それ以上行ったら熊しかいないんだからさ。本当に農村に信頼があって、軍事拠点作れるっていうのならあれだけど、それで駄目だっていうんで、俺と山根が会議で、文書ではそうなっているけど、実際にやってみたら、拠点なんか絶対に作れないって言ったら。山根もどっかへ飛ばされたと思うよ。

今西 山村工作隊っていうやつですよ。

しげかず 山根さんはその頃、札幌委員会の責任者だったのです。山根さんの名前で道委員会宛の報告出ています。彼も全国オルグで北海道へ来たんですね。

水落 山根は読売大争議の時に追い出された。

今西 紙芝居の道具っていうのはどこから預かったんですか。

水落 紙芝居そのものというのは戦後一杯やったんですよ。映写機も何もな

いし。

今西 幻燈っていうのはありますよね。

水落 俺は幻燈っていうのはやっていない。

しげかず 電気なくてはできないでしょう。

今西 ろうそくの幻燈っていうのもあるし、影絵もあるし。

水落 文化工作隊っていうのは、分裂前でも色々あったんですよ。北農の演劇部とかあったりね。農村でいい演目でやっているんだけど、労働組合中心だけど、演劇部作ってね。廻って歩いたりしたんですよ。啓蒙活動でね。

今西 紙芝居の中身なんか覚えておられますか？

水落 紙芝居は子供を喜ばすのに案外、思想工作みたいなものはないんです。戦後流行ったのは山本有三かな。

けいこ 『路傍の石』とか。

水落 『路傍の石』もそうだけれど、『本尊』というのがあるんだ。貧乏坊主が、本当は偉い坊主なんだけれど、廻って歩いてね、寒いものだから、お寺の仏像を焼いてケツ炙りしたっていう。偶像崇拜（批判）のことなんだよ。俺が、仏像を焼いてケツ炙りするボンズの役が当たったの。それが農村でブーイングだった。

しげかず 悪者役。

水落 そうなの。

けいこ 演劇して廻るわけ。

水落 俺はそうやって廻ったのではなくて、たまたまその農村の青年団がやるっていうんで、混じったら、水落さんの声はボンズの声がいいからって。ボンズやれってことになったのさ。俺は何も知らないで、ううんて言ったらね、「本尊」っていうやつやるんだって。啓蒙運動には進歩的な労働組合。北田寛治なんか北農労働組合の書記長かなんかやっていたのかな。委員長が後で市議員になった川口武男。あんまり左翼的でもないけれど、進歩的な出し物を、農村工作を。柔らかい形でね。戦争最中ってのはお祭りもないしね。明かりも真っ暗にされて。終わって灯が点いた時に、農村の青年が盆踊りと

演劇が盛んでしたね。だから農村と繋がっている北農中央会と労働組合にしても労農提携っていうのを、演劇をして啓蒙するというのに力を入れていた。

今西 演劇は小学校の講堂を借りたりしていたのですか。

水落 そうですね。お祭りでは屋台組んだりしてやることはありますけれどね。小学校が多いよね。何も娯楽がないから、部落の小さい小学校でやるとなったら、わっさりと集まる。

今西 前進座なんかも来たわけでしょ。赤平で前進座事件なんか起こっていますね。

水落 前進座が入ってきた最初は柔らかかったんですよ。出し物もシェイクスピアの何とかさ。結構大きな街でしかやらないんだけど、遠くからも、部落部落の文化人みたいなとか、街のお医者さんの奥さんと、東京で前進座の講演を見た、という人達の声がかかって凄いい観衆が動員される。「真夏の夜の夢」あたりか。

しげかず 「俊寛」ですか。

水落 「俊寛」あたりになると勇ましくなってきたね。長十郎と翫右衛門が割れてきたでしょう。あれもおかしいんだよね。中国派の方へ傾いていったのが長十郎の方なんだよね。だけど勇ましい芝居やったのが翫右衛門。

しげかず 前進座は翫右衛門、長十郎、国太郎と三派に別れて全国を巡業する。

水落 国太郎だったらどっちにもつかないよね。

今西 女形ですからね。

しげかず 1950年あたりは闘争に展望を喪っているからじゃないけど、レッドパージ反対派と大山郁夫。大山郁夫来道歓迎。これに大動員をかけている。

今西 大山郁夫を首相にしようという動きがあったんですよ。

水落 俺は大山郁夫が来た時は演説会とか集会とか出たことなかったな。何か用事があったのかな。全然忘れていたことが。

4 水落氏の生活と活動

今西 50年代はどちらに？

水落 あちこち。

今西 飛ばされたというか。

水落 そうですね。何して飯喰っていたんだろうね。

しげかず 主に北見と十勝ですか？

水落 札幌にも戻って来たり、又行ったり。北見を出てからは戻らなかったですね。北見は終戦後の再建地区委員会の。一旦追い出したら戻さないで、信任の篤い秋田県出身の奴をそこに据えて、六全協がくるまでそこにいたかな、あれが。

今西 どうやって生活していたんですか？ 党の機関紙を売れとか言っても、実際には売れないでしょう。党から給料もらって生活するというのは無理でしょう。

水落 俺は飯喰うのは上手かったんですよ。子供の時から家追い出されて、農家にとって馬のケツ叩いたり、土起こしたり、馬車に野菜を積んで売りに行ったり、珍しく、共産党の専従みたいな奴で馬扱ってなんてのはいなかったの。農家へいったら、即戦力になるの。畑起こしたりさ、馬洗ったり。場合によっては馬車曳いて何処かへ行ったり。学生の時も意外とね、高収入があったんですよ。

今西 アルバイトが上手かったんですか。

水落 学校も教育系だったでしょう。一般的にも家庭教師ってのはいいんだけど、特別金持ちが教授に依頼してくる家庭教師ってのは高いんですよ。普通、15円とか20円とか。公務員が20円足らずですからね。特別に教授に依頼して行った先ってのは、大地主とかね、金持ちの馬鹿息子でね、出来が悪いからね、今200番だけどせめて100番までにしてくれという。いくらでも出すとか言ってさ。教授が紹介したところは50円くれるの。

けいこ 50年分裂の時は、水落さん、あちこち転々としていた頃は、結婚は

なさっていなかったんですか？

水落 終わり頃かな。死んだ奥さんさ、美代子、これは十勝の農家の娘なんですよ。18歳くらいで党に入ったのかな。で、一所懸命やっている人だね。どうして飯喰っていたかと言いますが、俺の場合はついていたと言えると思うんです。ここの家だって、僕は自分で家は持たないで、公営住宅に入れば始末は簡単かなと思って家をも持たなかったの。今から30年前かな、俺の若い頃の友達で佐野法幸(のりゆき)っていうのがいるんだよ。社会党の。あれは北見で知り合って、後で全道労協をやった菊池、鴻之舞鉱山をやった菊池。20代の頃紋別で一緒だったの。佐野は一回共産党に入ったんですよ。入ったのもおかしいんだ。戦争が終わったらヤクザみたいなのが集まって、大日本共産党紋別委員会を立ち上げた時、佐野はいいお寺の息子だったんだけど、それに巻き込まれて一旦共産党に入ったことになっているの。しばらくいたんだよ。道新に何とかの生涯って載っているでしょう。30年くらい前に出た時に、はっきり言っているんだよ。一回共産党に入ったって。それでも俺の名前出さないけど、お前は社会党にいつ議員になれと言ったと。社会党に入ったって書いてあるんだよ。

山本 俺も記憶ある。

水落 そうなの。佐野法華はいかにも俺が勧めて、色々な所に根を持たなければならない、と。俺はそう思って言ったわけじゃないんだけどさ。菊池藤義ってのは鴻之舞の鉱山の委員長だったの。北海道では炭鉱か国鉄の幹部でないと、全道労協で委員長とか事務局長とか最高ポストに行けないの。菊池は鉱山労組なものだから、事務局次長になっていて、労金の何かになったりさ。佐野も副議長やったりね。労金の理事長になったりして、そして相談して。俺はいいところにはいつているが、あいつはあばら家に入って、家を何とかしなきゃってさ。北海道住宅生協がつくっているところ、ここがモデルハウスで注文した人が転勤になってしまって、ここへ入れ、ということになったの。俺はそんなもの金払えないよって言って、そしたら、何とかだ何とかだって、あいつらが相談して、ここへ入ることに決めちゃったんだよ。修理

も何もしていない。

けいこ 何年頃の話ですか？

水落 昭和25年と30年の間くらい。それがポカンと住宅生協から年賀状が来たところ、ちょっとこう書いてあってさ、モデルハウスがキャンセルになって今更他人に譲るわけにいかないから入ってくれて言うのさ。うちの母ちゃんが、ちょうど60になる頃かな、今まで苦勞させて還曆記念に家の一軒も買ってくれないのかと、お正月の年賀状見て居直られてさ、2日の日に見に行つて。そしたらここモデルハウスが一軒残っていてさ、住宅生協も全体が進んでいるのに終わらないからって、それでここに来たの。飯喰うのと、ちょこちょことお金入ると寝るところが困らなかった。他人がやってくれたのよ。

5 戦後の労農運動と共産党

今西 その頃の北海道は労働運動とか農民運動というのは、北見の方が労働運動の中心だったんですね。

水落 さっきの北見の委員長つていうのがあるでしょう。あそこは国鉄が強くなったの。もともとは網走管内の中心は網走なんだけど、はじっこにあってね、国鉄の管理局が置かれたのが、津別の方に行く道路、それから池田の方に行く道路、それから旭川に行く道路、それからちょっと曲がったら遠軽から名寄に行くとかね、その要衝で、労働組合としては国鉄が強かったんですよ。

今西 国鉄の中では共産党も強かったんですか？

水落 あそこの共産党つてのは地元で、戦前からやった人達とかは主に農村地盤なんです。国鉄の中央の方から、国鉄の道の、国鉄の中央委員になった、朝鮮人で林白言なんか、それが国鉄の中央・道。機関区中心に本当に労働者の党が作られていったんです。僕が地区の基盤を作るという時に、紋別は紋別の共産党さ、丸瀬布は丸瀬布の鮎山の共産党ね、津別は赤井儀太

郎とか、群雄割拠なの。国鉄中心でなければ党はできないと思って、それで声かけして。党ができたって言うのは、北見に豊地という所に古い人もいたりするけどね、一本にならないのよ。国鉄の労働者ね、特に機関区労働者かな、そういうのを中核にしないと、北見全部の一本の党組織はできないなと思って、その時共産党に入っていなかったけど、日光福治とか。あれはずっと入らなかったんだ。労農党と共産党の引きでね。あれは俺が入れと言っても、軍隊にあって陸軍中尉になっていたんだよ。満州へ行って、パーロの首切ったんだって、軍刀で。そんな人間が共産党に入ったら、共産党の名前に傷がつくから、なかなか。幹部候補生だった将校だから。でもだいたい入らなかったなあ。入らなかった理由っていうのは八路軍、後の中国人民解放軍、あれの捕虜を軍刀で、切れと言われてたから中国人を切ったんだけど、それが心の傷になって。俺も共産党に入れていいのかどうか判らなかつたんだけど、入ってから、上から文句も来なかったから。

山本 影川一族っていうのは戦前からのだったんですか？

水落 影川さんそのものは、昔の労働組合に関係はしていたのと、前衛芸術なんですよ。版画とかね。チェコとかあっちの方に出したりね。彼のペンネームはモクネンジンっていうの。黙念人。どこからとったかと言うと、モクネヒトっているんだよ。ロシアでもないポーランドでもない。黙念人って漢字でいっているかどうかわからないけど、その語源は何とかモクネヒトなんだわ。俺、文化人でないから黙念人の根源はわからないけど。その他に結構いたんだなあ。北見の文化人ってね。だから地区創設とか、国鉄の党ができる時の走りと言ったら、やっぱり影川さんでないのかな。

しげかず 字はどういう字ですか。

水落 影、かわは三本川でないほう。弘道。ひろむ(弘)，道。兄貴は青果市場の親方だし、だから一族の中では突出していたんでないかな。戦後になって頑張ったのは鈴木幸次郎。あれは管理部だったけどね。六全協の後、病気が治ってここの勤医協の専務やったりね。政治能力もあるし、鉄道管理部では経理。そろばん置いたりするのが得意で。ここの勤医協の歴史をみるとだ

いぶ前に死んじゃったんだけど、凄い功績を残した専務なんですよ。鈴木幸次郎。影川。その他一杯いるけれどね。

今西 運動は40年の後半くらいまで盛り上がってきて、50年に入ってから急激に弱っていきますよね。一挙に衰退しますよね。その時は活動はしんどかったんですか。

水落 国会議員ゼロになった時には、旭川の刑務所の中にいたんですよ。俺に言わせれば、川口孝夫は凄く貢献もあったという話もあるんだけど、いいところもあったのかもしれないけど、52年が一番最低の。それから、52年53年54年55年、55年の六全協の近くには、下部の方でも正常化しようという動きはずーっと拡がっているんですよ。その影で采配をふるっているのが水落でないかという、終わり頃には所感派のビューローの広谷俊二中心に、あいつを道東の方に遊ばせておいたらろくなことにならない、って言って拉致してこっちに連れて来たの。全国的に有名にならんけどさ、その前の前科をうまく消して、北海道レベルの常任になったりしたけど、後で頭おかしくなって死んじゃったけどさ。様々あります。俺だっていいことばかりしているわけではないんだよ。俺に対して悪口言うからこうなんだけどね。

6 北海道の活動家たち

今西 六全協の話は聴いたわけですね。

水落 六全協には行かないけれどここに居て。北海道でふっとばすのは広谷俊二だったんだよ。あれは上手く逃げて逃げてね。

けいこ そうらしいですね。

水落 吉田がうんと強くなったらね、傍に居て、お髭の塵払って。広谷ほどの経歴持っている奴がね。

今西 戦前からの活動家ですからね。

水落 昔の旧制高等学校の、第一高等学校の中心は伊藤律さ。第二高等学校は広谷俊二。第三高等学校は釧路で死んだけれど土屋祝郎。三羽烏って言わ

れたんだよ。昔。あの人は俺に言わせれば致命的にやられたのは紺野与次郎なんだよ。俺はその頃は子供だけど、第一高等学校ね、第三高等学校は京都ですよ。京都に土屋祝郎がいたということは、秋田出身で京都に行ったんですよ。その時、紺野与次郎は山形高等学校だったの。その頃にね、祝郎に聴いたらね、裏でかなり裏切りのことをやったらしいんですよ。

けいこ 誰が？

水落 紺野が祝郎さんに。だけど上手だから、あの人の生涯を見ても、それこそ、徳球の下で幹部会委員になったりさ。それから北京にも行ったんですよ。北京に行ったけど帰ってきてさ、宮本顕治のもとでいいポストに就いて。戦後間もなくだなあ、俺が北見に居る頃、祝郎さんが紺野のことについて率直な意見を中央にやったんですよ。わたしの戦前体験から言って。戦前やったことについて充分自己批判してからならいいけど、誤魔化してなら、という味のことを言ったら、祝郎は除外される原因になってしまったの。紺野与次郎が上手くやったんでしょう。東京時代だけれどね。土屋さんも悪いところあるんだけど、かなり一所懸命な人だったからね。だから結局、死ぬまで釧路から出ないで。始まりは、中選挙区になった時にはね、予定候補になっていたの。それがその件があったものだから、やられて、荒井英二が候補になったのかな。

けいこ 荒井英二さんが候補になったこともあるの？

水落 そうそう。

けいこ いつも札幌でなかった？

水落 いやいや、あの人は空知の炭鉱が足場なんですよ。終わった頃には空知であれしたけど。道委員会は常任体制になってからは、5区の候補になる前に、職場放棄とかあるでしょう。あの時期に道委員会の指導とか色々なことで。あの頃、十勝の新得で、機関区のあれとか、北見とか、ああいうのがあるから、道委員会の対策として、かなり当たっていたんですよ。その時土屋祝郎は候補から下げられて、第1回目の中選挙区の時荒井英二でやったんだよ。俺はミカン（箱）の台の上に上がって演説したから。戦後間もなく

は空知とか月寒の方へ来てね、あそこに家を設けて、立候補したの。祝郎を下げるために、穴埋めに、そんなこと言ったら、荒井英二、墓場から怒っているかもしれないが。水落は相変わらず喋る。あいつ、喋らなければもっと出世していたかもしれないと。

今西 戦後はずっと社会党が強かったのでしょうか。

水落 一番最初のまだ、長官と言っている頃の、選挙でね、田中敏文が当選して、それから知事になってしばらく、田中の後に町村が来てひっくり返したんだな。社会党王国を築いたのは戦後間もなくの労働運動が強かったのと、知事が田中敏文で。その頃、共産党もかなり田中を推していたの。経過から言うと、菱信吉が全道庁の委員長をやっている、そして敏文が副委員長をやっていたんだよ。長官選挙にどっちが出るかという時に、拮抗してさ、田中ってのはあの頃、線香みたいに細くてさ、あとでこうなったけどね(太る)。道庁の係長くらいだったんだよ。位から言ったら菱の方がちょっと上だったんだよ、委員長でね。でもあの頃、田中を立てて、共産党が推そうということになってね。

今西 社共合同とか、民主戦線とか、言っていた時期ですね。

水落 49年選挙くらいになってから、社共合同だけど、どっちかと言うと社会党は労働組合の中やなんかで、裏切らないうちは良かった。労農運動の中でも手を組んでいましたからね。両方からの、アメリカからの共産党排撃もあれば、共産党の左翼から遊離したのもあって、社会党の方も共産党を追い出しにね、協力したりして。49年に社共合同の理論かな。あれを言い出したのは伊藤律だけだね。大沢久明とかね、東北の方の、青森の。他でもやったりね。この間もお話したけどさ、こっちから東京に行く時に、とことことと汽車に乗って、大沢久明さんや大塚英五郎さんのさ、事務所に行つて。あそこに行った時にコミンフォルムの声明を聴いた。

しげかず 水落さんの10年くらい後になると、道東、釧路が社会党が強かったのは、釧路は岡田利春さん、網走は永井、あれは教組。それだって、3番目がどっちが取るかだったよね。3人なるか、2.3になるか。55年体制だと。

7 農民運動と農業理論

水落 十勝がね、有権者が少ない割りに、3人くらい出したり。本名、それから、後になってくるけど農村を基盤にした蓑。幕別の蓑何とか。社会党から。家の家内が幕別の駒畑の出身なんですよ。蓑がああ近くだったんだ。糠内と言う部落があって、あの辺に蓑の親戚があったりして、十勝が農民同盟では非常に強いところであったんですよ。上川の方は農民組合が強かった。十勝は農民同盟が強かったんですよ。

今西 戦後は結構、農民運動の人が多かったですからね。

しげかず 年表持ってこなかったけれど、農民同盟設立が確か、1949年。日農系ですね。

水落 十勝は耕作面積が大きいんですよ。十勝の農業問題、農民問題は戦後も論争の種だったんですよ。俺も北見の方から十勝の方に入った時、畑作の一戸一戸の面積が大きいでしょう。やることも、北見の方だと、水田があったり、畑があったり、平均面積で7町歩くらい。水田だったらもっと小さい。十勝へ行ったら、10町、15町が普通なんだよね。あれもわが党が敵に廻したところもあるんだよ。代々木の方の農民政策って言うのが、本州の農民の面積を基準にして、一番、我々と論争したのは、10町くらい持っててビートとか作るでしょう。ビートの植え付けて出面がいるでしょう。だから普通の自作農でも、それは労働者に対して搾取である。本州の水田地帯では1町持ったら旦那様でしょう。数字だけで、10町持ったら。春先に10人雇ったら、賃金払ってはいるけれど、それは富農なんだと。富農は敵だという。俺が主張したのは、中農な何かだとレーニンが言ったとすれば、北海道は中身は貧農と同じだと。雇ってそうせざるを得ないから。そうしたら、北海道セクトだと幹部が言うんだよ。ことあるごとに、代々木は北海道セクトだとか。何言っているんだと思ったら、アイヌ問題とか、土地問題ね。

しげかず 50年分裂時の共産党の農民問題の責任者は、伊藤律なの？

今西 深谷進とかが、伊藤律理論の批判者として台頭してきますね。

水落 深谷さんが表面に出たと言うのは、7回大会以降かな。あの人は綱領問題の時に、日本の農民階層の分析と。一番正確な分析を出したのが深谷さんなんですよ。と言うのは51年綱領と真っ向から対立する意見。深谷さんと言うのは。

今西 学者で言うと井上光晴とか。岩波の戦後版の日本資本主義講座を書いた人達が、「封建派」ですね。一番反対したのは栗原百寿です。茨城県の常東農民運動などと組んで、「反独占」理論を説きます。

水落 党中央の非常勤部員らがいて、最初の頃は部長が深谷さんなんですよ。あの人、何処の出身なのかわからないけれど、貧乏百姓の子で学校に行けなくて、あの頃、帝国農会、後の農民協同組合の前身のね、戦争中の帝国農会ではなくて、帝国農会の職員に採用してもらって、農家歩きが仕事だったんだって。色々勉強したという話を本人がしているの。51年綱領の農業問題。深谷さんはどういう見解を表明したかわからないけど、意見は違っていたんですよ。僕の主なものは北海道の農民階層の分析、例の中農とかさ、それとアイヌ問題が中心で、そっちの部会に入っていたんですよ。深谷さんは部長の時代が長かったなあ。あまり物を言わない人だったけどね。農業では割りとインテリが多いんだわ。理論問題でもあるんだね。

今西 農業問題って革命の中心問題だったのでは？ 60年頃はまだ日本の人口の半分は農民ですからね。

水落 農民そのものでなくても、都市近郊の農村地帯から工場へ通勤してきているでしょう。

今西 兼業農家というのが多かった。北海道では富農層とか中間層を取り込むということで、中央と対立していたのですか？

水落 それを言ったのは徳田球一なの。この前もちょとお話したでしょう。徳球があぐらかいてさ、これは必見のパンフレットだって言ってさ、読みながら全部解決するって。豪語するからさ、徳球のあぐらの前でさ、「書記長、そう言うけれどね、他ではいいけど、一所懸命やったて地区委員会では懐はさびればなしでね、飯も喰えないんだよ」って言ったたら、「君、それはこのパ

ンフレットが悪いわけではない」と。まだその頃は統一戦線論ではあるんだけど、北海道は中農と言われる人と仲良くなれなければ米はもらえないよ。と言うのが徳球の意見さ。まあ、一理はあるんだけどね。

今西 中農の規模はある程度大きいと考えておられたのでしょうか。徳球とは違っても、人を雇ったからって搾取とは思わないけれどな。

水落 雇っているんだよね。雇って賃金払っているから中農の搾取には違いないけれどさ、本州を基盤とする人の理論とね、衝突したんだよ。ずーっと。

今西 農業問題は民族問題と並んで、理論面では弱いところですよ。機械的に中農とは没落する層で、貧農と労農同盟を作って、という割と単純な理論が強かったですよ。だから、やっと中農層を守らなければいけないと、言い出したのが栗原百寿達で、中央の理論家の中では批判されたですよ。当時は中農層は没落した方がいいんだと言うような。だから、中農を保護した方がいいと言い出したのは割と最近で、60年代の話です。

水落 考え直して又間違ったり、だいたい繰り返して。

8 軍事行動の総括

しげかず 50年分裂の時に、52年の7月でしたっけ、共産党創立30周年で、白鳥の後で、旭川事件があって、その直前ですよ、徳田球一の論文が出たのが。それで収まるわけですよ。三大騒擾事件、吹田事件は何月でしたっけ。

今西 吹田は5月。

しげかず そこまでの段階でいわゆる武装闘争は影を潜めてくる。全国的にはね。北海道も旭川と小樽。それ以降は騒擾事件はそれほど頻発していないでしょう。

水落 デッチアゲ事件だった「芦別」だね。事件としてはしかけられた事件だ。

しげかず にもかかわらず、北海道は「所感派」だったから問題はなかった

んですかね。

今西 宮川さんは東京へ行ってしまいますが、柄沢さんはどうしたんですか？ 柄沢とし子は自己批判したわけですか？

水落 僕は後の方は知らないんだよ。富山の彼と結婚したでしょう。松島さんね。あの流れってのは全然知らないの。

しげかず 余談だけど、例の松島さん、北陸の、その甥っこが、我々の時代の活動家だった。

今西 もともとが国際派は少ないんですよ。北海道では火炎瓶事件の自己批判とはあまりやらなかったんですか？ 白鳥は無罪だと言って頑張っているわけですから無理だとしても、他の冒険主義に対する自己批判はないのですか。

水落 どういう風な幕引きになっていったかと言えば、統一を回復して、宮本顕治さん達中心の指導が強化され始めた時に、火炎瓶事件を起こした奴等は皆口を噤んで、あれは分裂した一方のやったことだと、知りませんと。広谷俊二だってそう言っているんだよ。

けいこ 広谷さんもそうなんですよ。

水落 広谷俊二は吉田四郎の側近になった。

今西 ひどい変わりようですね。

水落 あれ程酷いとは思わなかった。国際派が飛ばされたり、どっちかと言うと所感派に、「はい」と言わないのを飛ばしたり。あれこそ古くからやっているんだから、頑張ればいいんだよ。あいつは吉田四郎の肩揉みはしなかったけれど。NO3に深倉という奴がいて、吉田四郎のあんちゃんみたいなものの肩揉んでいるんだよ。あれはちょっと頭弱いせいもあるんだけど。ビューローでNO3だったんだよ。

しげかず 名前はよく聴きますけど、そんなに偉かったんですか？

水落 偉いたって、気にいった奴等を集めてやっているんだけど。とにかく、吉田四郎の隣に必ず広谷が座って。広谷って古いから色々なこと知っているでしょう。四郎はバンって指示は下すけれど、底の方から知っているわ

けでないのさ。そういう意味では広谷は重宝なの。そしてNO3が深倉さ。あいつは国鉄の機関区出身かな。それが一所懸命、肩が凝ったという四郎の肩を揉んでいた。

けいこ 手稲金山に中村栄治さんて言う、「解放戦線」、六全協の後、宮本顕治の路線に納得できないと、日本共産党レーニン派という組織を作って活動した人がいます。荒井英二さんも、中央で「アヤメ」だとか運動していて、六全協の後、それまでは所感派で凄い活動をしていたのに、ころっと寝返って、宮本顕治派になって、中村栄治さんの除名に深く関わったんだって。わたしは荒井英二さんとは一緒に文学をやっていたから、非常にお世話にもなったし、とても誠実な方だなあと、荒井英二さんのことは評価していた。中村栄治さんは、最も軽蔑していると言う。

水落 党の歴史の中でも、ああいう古い人達が、予想もしない事態になるでしょう。そうしたら弱点も出るんだよ。荒井さんていう人は本当は剛直な人で、軍隊で曹長かなんかで威張っていたんだが、反戦ビラ撒くとか、一徹さで、今度は全部肩章とられてさ、従軍巢に入れられて、二等兵まで下がったのかな。それからあまり偉くならなかったんだよ。そういう人なんだけど、やはりあの六全協のドサクサの時には、色々な性根が出るんだわ。理性でいかないの。一番顕著なのは、自分は助かりたいということなんではないだろうか。あの古い人達も。露骨にそうはならないけど、全ては吉田四郎が悪いと言って攻撃するわけ。

けいこ わたしも先日、機関紙印刷の社長だった伊藤俊さんに、治安維持法同盟の北海道の事務局長をやっている、聞き取りに行った時、六全協の後、吉田四郎があちこちに謝りに歩いていた。機関紙印刷にも謝りに来たと言っていた。わたし学生の頃、武藤さん、火炎瓶事件で武藤さんも逮捕されたでしょう。刑務所の中で、タオルをよこせ、とか石鹼をよこせ、だとか要求闘争をした。と、わたし達学生を集めた活動者会議で自慢たらしく言っていた。

しげかず 吉田四郎はイールズ事件までの学生運動の中にいたのですが、中野(徹三)さんとか、高岡先生だとか、その人達が「例の会」というのを作っ

ているのですが、その集まりに来て、頭を下げたという。

水落 個人的に言うと、吉田四郎と俺は年が近いせいもあるけど、一時期は凄く気もあっていたし、こういう風になってからも単純に個人攻撃はしあわなかったのさ。ところが、あのドサクサになっちゃったら、全てを四郎の責任にして、そして逃げて。一番酷いのは広谷俊二だよ。あれだけお髭の塵払っていながら、それだけ采配ふるう奴の隣にいたでしょう。駄目だと判ったら、どれだけ自分がそいつに酷い目に遭ったかと、演説して浮かびあがっていったんだから。広谷俊二は。

今西 六全協後に志田の遊行問題が出てきて、志田派を一掃みたいな方向が出てくるんですね。それより先に吉田四郎が追い出されている。早い時期ですね。

水落 爆発してしまったんだよね。

けいこ 要するに、中村栄治さんの話では、このままではいかないぞ、という雰囲気は党の中にあっただって。六全協が出る前から。

水落 深部ではね。

けいこ だから、いちはやく吉田四郎批判が出た。

水落 本当は四郎批判だけで済む問題ではないんだよ。だけどそこへ集中して。(広谷)は、自分が四郎に酷い目に遭ったということのを売りものにして。俺からみたら、皆年寄りだから、いじめられたと騙されてたの、それで済むのかって、言っちゃったんだよ。そうしたら、俺に向けて集中攻撃してきてさ。広谷俊二の末路もおかしなものになるんだが。

しげかず ここにいる連中は皆広谷には因縁があるから。隆夫は知らないかもしれないが。

けいこ わたしは学生の時、12月集会で広谷さんの演説を聴いているの。アジテーターだよ。

水落 人間って二重人格ではないんだよ。本来多重人格。条件に置かれた時に色々なものが出たりね。俺は始め、二重人格に腹をたてたの。本来多重人格にできているんだよ。

しげかず わたしもそう思いますよ。哲学で最近問題になっているのは、人間というのは単一だと考えられているんだけど、人間の中には複数認められるという。流行なんですね。

水落 俺、哲学を勉強していないけれどさ、各種類の人間に会って。こんな相反するものを持ってどうするんだ、と偉い人も、冷たい気持ちを持ってみて、二重であると決め付けているのがおかしいんだよね。

今西 光の当て方次第ですね。

水落 そうだね。

今西 袴田里見だって、ソ連へ行って一日にして変わるわけでしょう。

水落 あの人変わるんだよ。

しげかず 宮川寅雄、親戚が花王の重役で服部之総が、花王石鹼にいたわけよ。

今西 川村善二郎さんの聞き取りで、なんで、服部之総さんが宮川さんの面倒をみたのか、日本近代史研究会に入れたかを語っています。花王石鹼のつながりでしょうね。

しげかず 東京へ行って、花王石鹼の面倒になったらいいですね。

今西 服部之総は、労働問題の専門として彼に『画報日本近代史』を頼みます。後には宮本顕治に対立するのですが。

しげかず 1960年代でしょう。

今西 宮川さんをよく知っている連中は、結構感情的な人だという。

しげかず どちらかというところなんだろうね。現実家ではないんでしょうね。宮川さんとか、それこそ石島栄が北海道に来たのは流行だったんでしょうか。

水落 確かに芸術家肌というところはあったが、あるところではきつい出方をする人だったよ。いやあ、寅さんて。性根に色々持っているから。悪いことではなくてさ。

今西 武装共産党の時にリーダーですからね。大塚有章らが銀行ギャングまでやったわけだから。スパイMの挑発に乗ったということだけれど、あの時

の共産党では不思議でもない。

しげかず ギャング事件はね。現役の頃は立花隆のものを必死に否定していたけれど。

けいこ 何が？

しげかず 立花隆の『日本共産党研究』。

けいこ あれねえ。すさまじかったですよ。「犬は吠えても、歴史は進む」。立花隆も恐怖を感じたと言っていた。

しげかず 法政大学院時代の先生は中林賢二郎さんというのだが、立花隆批判キャンペーンに駆り出された。その材料を俺達弟子が集めていた。無理があるんだよな。やっぱり。半分は創作なんだね。

今西 文春の記者が材料を集めたのでしょうか。

水落 NHKの記者はよく出ていたね。

今西 立花隆は今癌でしょう。

けいこ そうなの？

今西 今は体験者として癌の話を書いています。

けいこ ああ、そうなんですか。

今西 今は、癌の人が多いいからね。

9 共産党と民主々義

けいこ 水落さん、川上政治さんて聴いたことがあります。機関紙印刷の専務だった。

水落 あまり深く知らないんだわ。

けいこ 聴いたことある？

水落 うん。

けいこ 機関紙印刷を立て直すために入ったという。

水落 何処を建て直すのかしらないけれどね。

けいこ 経営的に落ち込んでいた時に。1950年頃ですよ。

水落 機関紙印刷を造る頃には、僕、間接的に傍にいたんだけど、第一段階、そうやって造ったんだけど。共産党の色々な事件に関連する倒産状態に入るのでしょ。その建て直しと「赤旗」の印刷を、やるというところでの、建て直しというかな。少し立て直って、経営費が入ってさ。僕はずっと後から、党の道の財政の状況を見た時に、勤医協と機関紙の財務状況がどうかというのを、専務級を呼んで聴いたことがあるの。もう少し余裕があるのならたかってやろうかと思って、そうしたら、全然どうにもならないんだわ。共産党がその金をとったと言ったら問題なんだけど、色々な方法があるでしょう。それで、俺が両方に再建策を出したの。ちょうど「アカツキ印刷」が、出資法違反すれすれみたいな、債権みたいなものを作ったことがあるんだよ。よく調べて、出資法に触れないような形で、要するに、建設公債的な。

山本 協力資金でしょう。

水落 そうそう。あれも余程ちゃんとやらないと危ないんだよ。

山本 それで破綻するんです。僕は1980年の頃に入社したんですけど、割りと数字は見せる方なんですよ。その時に、10億くらいの売り上げで、2億くらいの借金なんですよ。それがどんどん膨れていくんですよ。しかも、中でよく調べたら、機械を買っても減価償却していないとか。今野社長が、僕が入社した翌年、1981年10月に癌で亡くなり、1992年には役員会とか、役員とか役員経験者が7人、辞めた。その他に30何人を解雇した。

今西 民主経営って、だいたい上手くいかない。

水落 理念とね。商売は商売だからね。

山本 北海道の機関紙の場合は予算をたてたら執行が。

水落 今勤医協の、俺は患者として見るんだけど、医者が言うには診るだけでは、全然金にならないから、薬を飲ませなければならぬと。結局、病人も病気もなくなったらあがったりだと。商売とすればね。難しいところだって言う者もいるよ。いくら民主的だとか言ってもさ、商売の原理から外れるわけにはいかないからね。われわれ、「岡目八目」で言うけどさ。最近、僕、多重人格について自己流で到達してさ、人を見る場合の。それともうひとつ

は、政治結社としての、何十年もかかわっているでしょう。政治結社というのは軍隊と同じようなところがあるんだよ。政治結社そのものの目的があるでしょう。その内部では憲法をどの程度尊重するか。自衛隊だって憲法を守りませんっていちゃたら潰れてしまうから、守る振りをしているけれど、それ自体、人を殺すためのものだからね。俺は中野徹三と会ったことはないんだけど、彼が除名問題でかかる前は俺がかかっていたのさね。なんで俺がやられないで、彼がやられたかと言うと、紙一重さ。俺の所属は支部のところに載っているの。ところが、中央委員会が、「あの野郎除名だ」となった時、理由はなくとも、除名するための理由は一杯作っているでしょう。それは地区委員会までしかできないの。民主的と言えば民主的なんだよ。共産党の規約は。基礎の支部のところへは手をつけてはならないことになっているの。俺は間違っって支部の名簿に載っているの。除名にすること自体は立ち消えになったんだけど。中野徹三は、道委員会のグループ所属だと思うんだ。大学の先生なんかの場合は。地区委員会なんかには所属しないで。

今西 彼（中野徹三）は大学の支部に所属していたのではないかな？

水落 所属していたのかな。

今西 大学の所属していた中でも反対した人はいたと言っています。査問は直接やっていたでしょう。

水落 宮本忠人がやったんだよ。

けいこ 水落さんが除名されそうになったというのはアイヌ問題なの？

水落 発端は宮本顕治とのアイヌ問題の論争さ。だけど、宮本顕治さんという偉大な人と、統合失調症にかかった宮本顕治さんとがいたわけだからさ。大会で、結果的に言えば俺の主張が通ったわけさ。そしたら、あの人も武家の末裔だから、俺の対面が潰されると、カッとなり。その頃に統合失調症にかかっていたのさ。偉大なところのあるんだけどね。「やれ」と言うことになったけどやれなかったのさ。いや、その点では共産党は本当に民主的ですよ。あの人も意見が違ふと言うことで処分はしないと、ずっと言っていたんだから。中野徹三だって、わって言えば戦略問題でしょう。

今西 中野さんの話を聞いていると、あの人は、ミスが多いんですよ。除名されるようなミスを結構やっているんですよ。あの時は色々な事件が重なっていますから。

しげかず 一連のものの中で、切りたかったんでしょう。宮本忠人さんて、その前は学対部長だった。広谷さんが、新日和見主義で除名されて、その後、一時水口春喜さんがやって、津金祐近が一年やって、最後に落ち着いたのが宮本忠人。

水落 荒井さんが、アヤメの頃に、下についてやっていたんだよね。

けいこ 誰が？

水落 宮本忠人。

今西 査問には小林栄三まで来たと言っていました。

水落 色々、言いながら歴史は進んでいるんだよ。

10 六全協後の党の再建

今西 もう一度50年の問題ですけど、統一やって、「六全協」の後は何処におられたのですか？

水落 「六全協」直後に、広谷は上手くのって行って、俺は色々言いがかりをつけられて、下がることがあったの。俺とか多田光男どとか、一連の連中が、ニコヨンまで行ったんだわ。

けいこ 多田さんも。

水落 鉄筋の工事の時に俺も入れてくれって。醸造工場の建て直しのことを頼まれて、石狩の方もちょっと行ったかな。7回大会になって、俺の方もその頃によく名誉回復さ。そして出て来た話が、7回大会で、8回大会までの3年間、党勢回復に、北海道で新聞を増やすには印刷をしなければならぬ、と。だから中央直結の北海道支局を作るからやってくれと言う話があったの。それで、それになったのさ。機関紙印刷の状況をみたり、それから、その頃中央本部を立て直すとか、府県の印刷所を作るというのが流行りだっ

たから、方針は3年かかって、代々木で使っているマリノ印刷機を北海道に持って来て。まだ、パタン・パタンという形式だけど、中央で使っていたお下がりやを、こっちへ持って来ると。機関紙印刷の建物も変えなければならぬし、道委員会の建物と合わせて、土地取得をするために、あの辺の地主さんなどの協力を得て。その時も戦ばかりだね。新聞の施設なんかどうでもいいから、立派な事務所を作れというのが袴田の意見さ。財政担当でね。志賀義男の方は新聞を作らなければ駄目だと言うんだよね。だから両方を兼ねて上手くいくかと思ったけれど。俺も引き受けたから、それで3年間、その時だけかなあ、給料らしい給料を共産党からもらって、専従みたいになんかやったのはね。その前は醸造工場の建て直しみたいなもので食って、そこでは給料をもらっていたしね。3年間それやって。

今西 事務所の場所は何処ですか？

水落 今は3階建ての事務所があるでしょう。あの辺は、あの頃なかったから。あれは1964年にできたのかな。機関紙印刷と一体化してさ、造って印刷機を持ってくると言って。印刷機を持ってくのに何年かかったのかな。俺が3年かかって段取りした途端に、道委員会の財政部長の伊藤謙がさ、突然やめちゃったの。辞めたというより不信任をくって、役員を落選したのかな。落選したって財政部長はやれるんだけどね。みんな投げ出したんで、俺が財政部のところへ転出したの。8回大会の時からね。

今西 中央委員会ですか？

水落 いいや、道委員会の。機関紙の計画をやっている時は、中央の勤務員になるのかな。給料をもらってね。今度、道の財政部に穴があいたものだから、そういう仕事って誰もやりたくないんだよね。目の前に借金は抱えているしさ。財政を1年かそこらやったかな。

けいこ その時なんですか。高橋通泰。

水落 高橋通泰を引っ張りこんだっていうのは、あれは、単式簿記と複式簿記の切り替えの技術を持っていたの。あまり素性を知らないんだけど。伊藤謙という財政部長が首になったというのは、だんだん膨張しているのに単

式でやっていたわけよ。だから不明金が出ても、合わせようも何もないのさ。単式簿記で不明金が出た時には、担当者の使い込みとしか、理由がつかないの。ほとんどの所で、使い込みということで首になっているんだよ。究明できないのさ。伊藤謙、可愛そうだけれど、あれは国際派だからね。首になったし辞めてね、穴があいて俺がやることになったんだけれど。又首になったら嫌だからさ、使えるんだったら悪党でも何でも。通泰のことも知らなかったけれど、あの奥さんが俺の知っている奴の妹なもんだから。通泰に会ったら、複式簿記の技術を持っていることがわかったの。

けいこ 何処で身につけたんですか？

水落 あれは、「なにわ」でつけたものか。通泰というのは器用な男だからね、素早いんだ。知恵もあるし。俺は、かあちゃんの兄貴と知り合いだったものだから。でも道委員会にどれくらいいたのかな。

けいこ 高橋通泰を紹介してくれた人は何方かは。

水落 通泰の奥さんの兄貴なの。同じ高橋という名前で、道の委員になっていたの。俺と接近する前からでも、通泰の奥さんの兄貴だから、「兄貴、兄貴」と言っているのを俺が見たのさ。あいつ何だと言ったら、こうこうこうだと言うから、何か取り得ひとつあれば。俺のまわりには高度でなくても、単式を切り替えて、複式にして帳簿を完成するという能力ある奴がないんだもの。

けいこ わたしも学生時代、財政部長をやっていたが、あの当時、財政というのは、党費の他に何か財政活動ということはしていたのですか？

水落 いや、地区レベルというのは単純なものさ。物を売って歩くとか、農民であれば米のカンプを頼むとか。地区の財政というのはあまりぱっとしたのはいないんだよ。だから、前に俺と徳田球一の間答があったでしょう。なんぼパンフレットを売ったって飯喰えないって言ったらさ。

けいこ わたし、凄く不思議に思うのは、財政問題と言っても、党自体がそんなにきちんと整備されているわけではないから、だって、未納の人だっているわけだし、それをきちんとしろ、と言われても、言われる方も困ってし

まうのではないのでしょうか。

水落 伝票なんかをきちんとすれば整合性はつかめるんだよ。黨員リストと黨員個別の。初めはドンブリ勘定でやるんだわ。

11 共産党の二重帳簿

けいこ 水落さんは、党の財政が表部隊と裏部隊があったというようなことは聴いたことがありますか？

水落 六全協の前までの、一般的にそういうものもあるし、例の人民艦隊とかトラック部隊とかさ、落下傘部隊とかね。だけど俺はその時、それらが存在するのはわかるけど、全然触ってないから。あることは知っているの。でも幼稚そのものだよ。名前だけだよ。人民艦隊なんて言ったてさ、安っぽい船で。

今西 でも、それで白鳥事件関係者は逃げたんですから。

水落 その程度のことは党と無関係のことでも、北海道と大陸と千島なんかは、ポンポン蒸気（船）に隠れたり、不断にそういうものがあるところに乗せたから、前進座事件でさ、誰かを逃がすという時に、船を調達する時に、抵抗した人は何をしたかわからないけれど、ルートはあるんだよ。

しげかず 我々の時代でも、「ベ平連」が逃がしたでしょう。あれは根室から逃がしちゃった。ルートあるんですよ。根室の漁民は日常的に。

今西 当たり前の話なんですよ。

水落 表ざたになって国際法とか、法律とか嵌めると問題になるかしらんけど、その一歩手前のところって言うのはずっと流れがあるんだわ。

けいこ 50年分裂の時に、かなりの幹部を非合法状態の中で、中国に渡るにしても、お金がかかりますでしょう。そういうお金を調達するために、日本全国を6ブロックに分けて、特殊財政、トラック部隊が作られたというのだけれど、北海道ではどんなことをやったと聴いていますか？

水落 いやあ、名前だけしか知らないわ。

今西 関係者以外は知らない。

けいこ 関係した人は知っていますか？

水落 俺は、六全協で終わって、色々なことを始末する段階で知ったことが多いんだよ。

けいこ あいつはトラックに関わっていたようだとか言う話は聞いたことはあるんですね？

水落 六全協のドサクサになってしまったらさ、ゴタゴタでしょう。

今西 六全協の直後に、共産党は割りと調査していますよ。50年代のゴタゴタについてはね。中央委員会が調査委員会を作り派遣して、そういう書類を持っていますよ。絶対公表はしないけれど。

水落 だけど、北海道では誰がそれをしたかね。だってそれを推進した広谷俊二そのものが、六全協の時及びその後何をしたかということとはわからないんだから。

今西 広谷さんは多分、総括委員に入っていると思いますけれどね。

けいこ 広谷さんはそこいら辺のことは知っているんでしょう。

水落 知っている筈だよ。それこそ吉田四郎よりは知っているよ。

俺が、六全協からしばらく経って、伊藤謙が去った穴埋めに。北海道は分裂した一方の側がやったことで知りませんということで、ずーっと通しているの。だから内部で知っている人間はどうしたかね。だって、だいたい俺のところにも入らないんだから。

けいこ でも、その六全協で、ゴタゴタを水落さんが整理しなければならなかったという、何が原因で水落さんに白羽の矢がたったの？

今西 伊藤さんがいなくなって、水落さんがやったというだけのことではないのですか？

水落 広谷俊二がそれほど言うのであれば、吉田四郎のお髭の塵払っていたとしても、やればいいでしょう。柱なんだから。だけどやらないんだよね。でもそんなことを考えていられないくらい切羽つまっているから。

今西 しかし、党費も上納してこない中で、財政は率直に言って破綻状態で

しょう。

水落 それをどう立て直すかと言えば、俺の哲学から言えば、技術問題よりも、問題は党なら党が、しっかりして、何をするのかということをはっきりさせて、今まで被害を与えた人にも、納得してもらう以外に、負債整理の根本はないということだから、吉田四郎が頭を下げて歩いたりしたかもしれないが、根本的にいくら技術的にお金の勘定しても始まらないでしょう。だから企業も同じさ。要するに、信用がなかったら銀行だって金貸さないんだから。信用の形態は色々あるけれど。政党だってさ、社会の前の方に向かって、信用が持てるか持てないかで、借金を勘弁してくれるか。出してくれるかという根本的なことになったら、ただ頭下げていても仕方がないし、そうかと言って、悪いことをしたのに威張ってもいられないし。でも何十年も前から刑務所の中で「反戦」を言ってみたり、追われてみたり。政治的信用と、債務的信用と、それとが一致するかしないかが、その時の舵取りの要だと思うから、そうやって党員をまず励まさなかったら、どうもならないでしょう。小さくなってしまっているから。

今西 具体的には共産党に金を騙し取られた人達はいなかったんですか？

水落 犠牲を受けたという訴えは一杯ありましたよ。

けいこ 具体的にどういうこと？

水落 金貸してくれって言って返してくれなかったとか。

けいこ それはかなり規模の大きな話なの？ 個人的にとか？

今西 個人的にとうのは一杯あった。

水落 いやあ、以外と大きい所で金出したの。

けいこ 党に対して。

水落 大きい木工場の社長とかね、僕が歩いたところではね。割合そういう人達が多かったんですよ。そういう工場の中に誠実な党員の人達が一所懸命やっていてね、そういうことも含めて、いいでしょうと言ってくれるところもあって、被害を受けたから戻せと言われたところはなかったなあ。

けいこ わたしが知っているのは、北映商事というミシンとか電化製品を

扱っている会社があって、土肥和夫という人が社長だったらいいの。東京にも支社があったんだって。北海道が本社なんだけれど。土肥和夫さんが東京に行っている間に、陸田とか言う人が、シベリア還りの人が、北映商事を乗っ取ってしまったんだって。とんでもないことになっているという通報が札幌から入り、会社が黨員によって適当にやられてしまい、売り上げもみな誤魔化されてしまうということがあって、小田茂勝（当時の党の財政部長）に泣きついたら、東京でトラックで有名な織研事業部の社員として紹介してくれたという話が、党財政の二重帳簿とかに載っている。そういう具体的な話は北海道では聞いたことはありませんか？

水落 伊藤謙が、8回大会の党道会議で、落選したという理由は一応あるんだけれど、それは彼も凄く努力したの。六全協後の始末に。俺が、あの人が引いてからなった時には、あの人とか阿部哲史さんとか、阿部哲史さんとか伊藤謙とは年も近いし、仲が良かったせいもあるし。伊藤謙は円山方面の財産家の息子だからね。あれが落選して引いたという非難はあるんだけれど、六全協が出て、8回大会あたりで、財政を立て直すために一所懸命やったのは伊藤謙なんだよ。伊藤謙が非合法時代に色々やって、あの時代の頃の本を古本屋に売ったと言って悪口を言う人もいるけれど、あれは六全協が出た時から、8回大会まで財政では一所懸命やったの。だから、そういうところの始末は本当に一所懸命にやったんだよ。彼のやりくりも含めて。俺はその後でやったから。引きずっている大きな問題は俺には来ないわけさ。それから先に立って、あの機関紙印刷周辺の地主達も、好意を持って大衆の話にも応じてくれたの。

けいこ あそこの地主さんで誰だったの？

山本 小貫。

水落 その廻りは、小貫さんという人。

山本 81年にビルを建てた。線路側に。その横にクレセントというホテルがある。

水落 その他に2・3人の地主さんがいるんだ。その人達と最初の折衝をし

たのは伊藤謙なんだよ。阿部鶴松（哲史）さんと一緒になって。だから伊藤謙の知られない努力はもっと評価されなければならないの。いつのまにかそれが薄れて、伊藤謙の奥さんという人が、謙が死んでから、手稲にいたのかな。

12 共産党の地域活動

けいこ 伊藤謙さんの奥さんって、手稲の富丘か本町にいませんでした？ 同じ支部だったような。わたし、北大を卒業した後、手稲富丘の市営住宅に住んでいたの。そこで副支部長をやっていたんですが、古くからの党员で、おじいさん、おばあさんが多いんですよ。居住支部というのは。わたしが、若いということで副支部長にさせられたんだけど、伊藤謙さんの奥さんの家で支部会議を開いていた。

水落 あの頃の支部とか細胞の編成が、始めはでかい範囲で。

けいこ あの頃は手稲山口も一緒でしたもの。

山本 言ってみれば「手稲区」支部だったの？

水落 もともとは、手稲町細胞だったのさ。本町、富丘とかね、今の曙の方とかさ、だんだんだんだんと増えていく。

けいこ だからわたし、多田光雄さんの選挙の時、手稲駅の近くにおんぼろの家を借りて、そこに「選対」を置いた。毎日、支持拡大がどうだこうだと。あの頃子供が小さかったから、大変だった。国鉄の人で後藤さんという人がいたんですが、その人がわたしの家に毎日来るわけさ。支持拡大をもとやってくれて。泣いたことあったんだよね。これ以上やれないって。そうしたら、それ以来来なくなったんだけどさ。

水落 俺は党の常任で、家が曙にあったんだよ。多田光雄の表向きの選挙体制っていうのは、当然、党と後援会であるが、第2陣というのは、また別なんだよ。多田が東大出身で、奥さんが医者で。第2陣は、会社や弁護士事務所に票を拡げるの。第3陣というのは、表ざたにはできないけれど、有名な

人とか、東大出身とか色々な人。本格的に票をとろうと言う時には陣立ては3つあるの。共産党道委員会でしょう。それが選挙の表だったあれで。あの頃、中選挙区の1区だから。後援会体制が第1陣さ。

けいこ 多田さんて東大を出ていたの？ あの人、50年分裂の頃。

水落 多田光雄は俺と一緒にいたんだよ。経歴を言うと、東大文学部英文科首席卒業さ。銀時計をもらって。軍隊に行き、それから女学校の先生をやっていた。同じ中学の先輩がいるらしんだけど、その次の先輩が荒井英二で、後輩が多田で、気合がかかってさ。戦後間もなく、『トラクター』という名前の機関紙、今『ほっかい新報』とごちゃごちゃになったけれど、その主幹かなんかやったんだよ。多田が。その頃に大月源二なんかも、新聞の挿絵を描くとか、手伝いに行っていて。軍事の方のあれはやっていなかったな。オルグとして色々なところに入っていたけど。あの人床屋の息子なんだけど、女学校の先生をやったり銀時計をもらったりしているものだから、殿様の息子で、奥さんも医者でしょう。

けいこ 多田さんて、品のある人でしたね。

水落 そうだ。人気あったんだよ。第3陣までの、それを統合する裏選対の親分みたいな。3つがかみ合わないの。俺はいつも表部隊の役者は当たらないのさ。裏部隊のそういうの。

けいこ 50年分裂の、北海道は志田一派だったわけだけれど、下々までがみんなそうだったというわけではないの？

水落 そうではないさ。簡単に言えば、今の伊藤謙だって、所感派に背中向けて、一所懸命鶏を飼って暮らしていたんだから。そういうのは炭鉱の方の、有力党员とかいたの。特に炭鉱地帯とか、一番最初にここら辺を何した人がいるわけだから、最初に当選した人とか。だから、そういう人は、動かなかったというのものもあるし、だから、全部言われて動いたわけでもないんだよ。

けいこ 回復していく過程で、皆が、そうなんだ。六全協が出されたんだと、納得していったというよりは、じわじわと何となく立て直していったという感じなのですか？

水落 上部の方で問題になったというのは、志田重雄男と宮本顕治が全国を行脚して、両勢力の和解ということがスローガンで歩いたわけだから、われわれにしてみれば、分裂の最初の引き金を引いた宮顕が、それから変わったんだけれど、志田重男と腕を組んで歩くとは何事だと。志田に対する批判よりは、宮本顕治に対する批判の方があったところの方がずっと多かったの。主張とすれば宮顕さんの方が正しい主張なんだよ。だけど、言うことをきかないんだよ。「宮顕が何を言っているんだと」言っただけで。だから7回大会もごたごたして、8回大会の。だから笑い話だけど、黙っていれば二晩でもやっているから、何分喋ったら、チーンと鳴らすのを発明したのは宮顕さんだから。

けいこ 学生時代はしょっちゅう使っていましたよね。

水落 7回大会でも、留まることを知らない紛争なのと、勝手放題の事を言ういいところはあるけれど、ある意味では、宮顕さんが、「こうだ」と旗を降ると、動かないということがあったの。だから苦労したんだよ。あの人。

今西 7回大会は北海道ではどういう人達が多かったんですか？ 反綱領派はいましたか？

水落 北海道は残念ながら、総体として、理論的にどうだという出方にはならないんだわ。例えば代議員で選出されて行くでしょう。そんな中に、綱領で論陣張った奴いるかなあ。俺は7回大会の時はさっき言ったように、経営局のあれだから、俺はそういう立場だから、北海道の党会議で、党大会代議員に、立候補すること自体が。

今西 宮顕が全国をまわっても、京都でも、宮顕が来ても、皆遅刻して会議に出てこなかった、と宮本さん本人から聞きました。「ひどい所だった」と。

水落 だから、苦労して苦労してお役目を果たしたんだからなんだけれど、そっぽ向いたんだよ。北海道でも。

今西 宮本さんに会って、京都ってひどい所だって、最初に言われましたよ。あんなに苦労させられた土地はなかったと。

水落 京都で持ち上げられたってところあるでしょう。

今西 京都は河田賢治が。北京学校の副校長ですからね。

水落 宮頭にそっぽ向かなかったというところが何処だったかを聞きたいくらいなんだわ。

けいこ そんなにひどかったの。

水落 先入観があるからね。

今西 最初苦勞したという話は彼していましたよ。

水落 苦勞したでしょう。それは偉いところさ。その時に北京から帰ってきた連中とか。

今西 志田派は切っていったんですよね。その後は。

水落 スタートの時は、二人が並んで。それが両方の意味で言うことをきかなかった原因でもあるんだ。志田と宮本が腕を組んで来て何をするんだというね。雰囲気だね。

今西 火炎瓶闘争をやった連中は恨んでいますからね。

けいこ 宮本百合子は随分尽くしたわけでしょう。卵焼きが入っている弁当とか。

13 水落氏の活動歴

今西 農村対策に行かれたのは何年から何年頃ですか？

水落 農村対策をやった時期。わたしは戦争が終わる一カ月前に、憲兵隊から逃れて北見へ入りました。終戦一月前くらいですね。それからずっと居たもんですから。戦争が終わって、農地解放運動とか農民運動とか、ですから共産党とは関係なしに入り込んでいたんですよ。共産党の関係というのは、戦後2年間というのは、全然共産党にも入っていないし、繋がりというのは少しありましたが、だから連携しながらやったとしても、2,3年は全く共産党とは関係がない農民組合運動とか、農地解放運動とか、紋別の新設された農地委員会の職員みたいな形で関わっていて、戦争が終わって2年くらいが経ちましたから、専門に共産党の農民運動部との関係でというのはずっと後なんです。実質的にはずっと農村に居ましたので、色々ずっと繋がっ

たりですね、共産党の農民・漁民部を正式にやったのは、7回大会が終わって8回大会、8回大会で常任委員会に入ったのですが、財政とかそちらの方をやりまして1年くらいやって、その後ですね。61年、63年頃から3年くらいだと思います。

今西 63年から3年間は道委員会ですか。

水落 北海道委員会の農・漁民部。それから非常勤で中央の農民・漁民部ってありましたから、その非常勤部員で北海道に居て、時々中央で部会があるものですから、中央に行ってやって、ずっと農民・漁民部との関係は続くんですけど、62年63年くらいから3年くらいですね。正式に肩書きが就いているのは。戦争直後からずっと身体ではやっているものですから、何かと言うと政策問題とか土地問題と関係して、政策担当をやりながら、北海道の土地問題とか。戦争が終わった頃から形の上では役職はないのですが、関係は持ちながら、党の機関メンバーとして肩書きがついて農民問題というのは62年63年くらいから、3年くらいですね。

今西 その時は専従としての給料はもらったんですか？

水落 もらったことにはなっているんですけど、わたしの関係で言いますと、他で色々なことをやっているんですよ。ですから、家内も仕事をして一応の人件費はもらっている形ですね。共産党からお金をもらって暮らした時期というのは、8回大会の前に3年間中央の機関紙の経営局のスタッフということで、札幌で現地の印刷の用意をするということが色々あったものですから、3年間は中央から人並みにもらったんですよ。それ以外のこともやったり、選挙の候補になると、まず出なかったにしろ2年間くらいは、ホテル代から色々なものが出ていますから、そういう形はありますけれど、100億くらいの不動産会社の常務取締役なんていう肩書きがくっついちゃったりして。本当に共産党からお金をもらって暮らしたっていうのは、8回大会前の中央機関紙部としての現地印刷の準備をした中央経営局のスタッフとしての給料が第一ですね。多少は道常任委員という肩書きがついている間はある程度雀の涙ほどですね。もらって、出なかったけど、穴のあいたところの候補

になって、どっかで演説なんかをしろというものだから、その時は候補というのはホテル代から何から全部出ますから。だから今みにきちっと給料制度を作ろうということになったのは、僕が身を引いてから確立したのかな。給与制度できて、年金とか色々な、その準備はしたけれどももらわないで別れちゃったという。

今西 財政部の時の中央の部長は誰だったんですか？

水落 中央ですか？ ちょっと名前出てこないなあ。その時に金握っていたのは袴田里見なんです。中央常幹として。北海道の財政まで首突っ込んでみたり。

今西 色々な幹部の名前がでていますが、袴田さんが握っていたのですか？

水落 7回大会から8回大会ね。袴田さんが金。そして志賀義雄が新聞。ということかなあ。

今西 書記長は宮本顕治ですよね。

水落 8回大会前の7回大会で書記長になったんですよ。

今西 それからずっと書記長ですよね。

水落 どこまで書記長だったかなあ。

今西 12回大会までは書記長ですよ。

水落 その前にね、12回大会の前の10回大会か11回大会で不破を書記局に入れて宮顕は。

しげかず 幹部会議長。

水落 その後に議長をつくってね。

14 共産党の分裂

今西 その宮本さんが、体制を握って。宮本さんが8回大会以降中心になってくるわけですよ。その時に袴田さんとか志賀さんとかいて、志賀さんが一番最初に出ていきますよね。いわゆる部分核停条約の問題で。

水落 鈴木市蔵とかなんかの。除名の問題かな。志賀義雄ね。

今西 「日本のこえ」のグループです。その頃は野坂・宮本・袴田・志賀くらいが。そういう人達が7回大会頃は中心だったんですね。

水落 7回大会くらいはね。7回大会くらいは、志賀義雄はちょっと抜かされていたんですね。宮本と袴田の間っていうのはどういうことかなあ。その頃はNO1が宮本顕治で、形の上ではNO2は袴田ということになっていたの。戦前に捕まった時、二人一緒に捕まっているから。まあ同期生だから。そういうことで、持ちつ持たれつで悪いけれど、宮本・袴田がNO1・NO2の形なんですよ。六全協から7回大会の間っていうのは色々ありますけれどね。

今西 志田さんが除名されて、その後、宮本、袴田、志賀、そういう人達が中心になってくるわけですね。志賀さんは宮本さんとはどうも最初から会わな合わなかったみたいで。志賀は威張っていたと聞きます。

水落 党の創立の時というのは徳田球一、志賀義雄、死んだけれど、市川正一さんとか、そういう人達がいましたからね。戦後出獄した時は徳球が出てきたわけでしょう。懐刀が伊藤律。志賀義雄で宮本顕治の順でしょう。

今西 50年問題が一応終わってから、志賀さんとか伊藤律とか徳田球一とかはいなくなってしまったから。

水落 北京機関ね。

今西 志田重男も行方不明になったし、その時は道委員会におられたのですか？

水落 北海道の分裂の形っていうのは、中にいる者にとっては分裂を意識しないような形なんです。歴史的に後になってから、あれが分裂であったかというような具合で。中枢部に入っている人には判りますよ。1950年ですからね。1950年の中央の分裂の、北海道委員会でもあとついでガクガクやってね。その時に関わって生きているといたら僕と代議士やっていた女の人。柄沢とし子さん。まだ100歳で生きているんでしょう。それ以外、去年か一昨年全部死んでしまったんですよ。

今西 赤旗では柄沢とし子の除名が大きな問題でしたよ。当時国会議員でしたからね。

水落 柄沢とし子はね、僕は除名されたっていうことも知らなかった。何で知らなかったかね。除名をした党機関ってというのは割れてしまっただけからの機関ですからね。割れたっていう感覚ないんだけど、僕らも実際外されて、そういう集団協議からは外されていたんですよ。だけど名目は適当にね。どここの農山村の地代の調査活動をやってくれとかという形で追っばわれていたりして。それで割れたところが吉田四郎を中心として。僕は50年の時の北海道地方委員ですよ、道の分裂で亀裂が入ってきて、それで翌年が四全協かな。四全協、五全協があつてね。50年分裂から四全協というところがね、はっきりした形とってないんですよ。北海道の場合ね。我々を除いて、四全協はやったから、そこで決つたんだけど、何かやる時は我々も呼ばれてやったりね。外されていることははっきりわかっている。正規の道委員会ってのは一切招集されませんからね。それまでの西館だとか色々な人はボイコットされたり。そこへ行くまでに吉田が握っちゃつたのかな。

今西 吉田、広谷体制なんですか？ 広谷俊二が下について。

水落 そうなの。広谷ってのは我々から見ても何でも采配ふるってないんですよ。側について。吉田四郎は北海道のこと、人脈とか色々知らないし、そういうことになってくると広谷は知っていますからね。

今西 戦前からの活動家ですからね。

水落 そうそう。だから、側近中の側近で。それで、何かで僕らと会つても、広谷が采配を振るうということはないんですよ。我々に物言う時は四郎が直接。で、その他に追分方面の機関区かなんかやっていた深倉。深倉は本当の太鼓持ちだからね。いや、側近のうちに入ったんだよ。四郎がいてね、広谷がいて、NO3くらいに入ったんでないかな。深倉は。だけど、ずっとずっと後輩ですからね。強いことは言わないし、広谷も言わないんだよ。俺に四郎が直接言うんですよ。だから尚更分裂意識が薄れるわけ。割れていて一番トップ握っている奴が俺と直で話している。実際は組織は解体していたの

かな。

今西 西館さんとか村上（由）さんとか戦前の活動家は外されていたんですか？

水落 分裂の直後にね、占領政策違反とか何とか言う形で、西館さんを。スパイの動きも一杯あるからね。僕は後から判ったんだけど、西館とか荒井英二かな、ああいう人を吉田四郎の手で、いわゆる所感派系かな、その筋で九州かどっかへ飛ばしたんだね。六全協終わってから帰ってきたのは九州からだったと思うなあ。

けいこ 荒井さんは東京に行っていたそうですよ。

水落 そうなんだ。荒井はアヤマの親分。アヤマって言うのは農民部。労働関係はサツキ？ 俺が顔を合わせたというのは六全協が済んで、飛ばされたのが帰って来て、どういう風に再建するかといううね、その時に西館、荒井とか。

15 共産党の再建

今西 そこへ宮本顕治が来たわけですね。

水落 西館、荒井が帰って来てから、ちょっと記憶がよくわからないんですけど。まず来たのは、宮本と後から除名された志田が来たの。こっちの方の連中の受け方は何で宮本顕治と志田がくっついてここへ来るんだ。所感派で占領されたということもあるから、志田への反感よりも宮本への反感の方が強い。北海道で受けたのはね。50年の時本部でコミンフォルムの声明を受けてゴタゴタした時の、最初の印象っていうのはコミンフォルムの声明を受け入れるべきだと言って、一発入れたのが宮本顕治だったからね。後から訂正しているけれど。そういうのが入っているものだから、宮本が何で来たのか、というのが元幹部の印象さ。

今西 所感派の強いところは皆そうですよ。京都なんかは反発も強かったから。火炎瓶闘争で皆忙しかったのに九州に居て、傷つかずにいたのですから。

水落 宮本顕治の息子で宮本太郎っていうのがいるでしょう。僕も彼の話聴きに行ったこともあるんだけど、太郎の話も一応根拠のある話なんですよ。ね。

今西 社会福祉論ですからね。

水落 そうそう。宮本顕治の秘書、前にもお話したと思うんだけど、宮本が北海道に来ると、秘書が俺の家に泊まるわけ。その時の雑談でね、秘書だから宮本の家に行ってお座敷で、テーブルでお座りしていると、お菓子が出てくるんだって。そしたら、太郎が5歳くらいの時かな。そしてひゅーっと見てね、ぎゅっと掴んで逃げるんだって。僕は見ているわけではないけど、その秘書が、あのがきは親父とそっくりだって言うからね。だから、宮本太郎が講演した時に聴きに行って、親父と同じ顔をしているかと思ったら何とスマートで。

けいこ お母さんに似ている。

水落 そうか。須恵子さんか。そうか。僕の印象は秘書が親父そっくりだと言っているから、あんな平家蟹みたいな顔したね、宮本太郎が喋るのかと思ったら、全然スマートなんだよね。この間、共産党の「ほっかい新報」がコープさっぽろ主催で宮本太郎。明らかに彼は、何とか今の福祉で圧力を民主党でもどんな政党でも、圧力をかけて福祉の改善をやろうと言うレールの撤回なんだよね。一理あるのさ。反対、反対ばかり言っていないでね。

今西 彼は民主党のブレンですからね。

水落 僕はこの間、付き合いで行って来たけど、全然親父と違うもんだから。しげかず 僕らより10年くらい下だから1957年頃の生まれだと思います。

水落 まだ50代でしょう。ところで話は何でしたっけ。

今西 その時の共産党の組み合わせ。道委員会はこういう風に変ったのかということ。

水落 再建の途中の、六全協をひとつの主軸にして、色々変えていくわけですよ。ところがその時の、排除された奴やら四郎の側近になった奴等がいっしょくたになってやっているわけ。四郎の一番の側近だった広谷が、あれは

口から生まれたような野郎だから、「いかに俺は四郎に迫害されたか」って大演説ぶったら、ああいう時期だから、皆見ているわけでないでしょう。「おお」って拍手するの。何とか活動者会議ってね。正規の機関を確立していないものだから。暫定の対策をやる時に、ほとんど圧倒的票が広谷なんだよ。あとの古手の村上（由）とか一杯いるわけでしょう。それがあまり票も入らなかつたりね。どさくさやっているから。何が真実なのか明らかにならない時に、広谷の演説っていうのは人をだます力があるからね。そして宮本のところに泣きながら行ってね、いかに俺は所感派にやられたかっていうのを、とりいって。広谷の私生活も一杯あったからね。

けいこ 私生活？

水落 奥さんがいるのにさ、いかがわしいことも一杯あったんだ。彼の女性でのあれは革命家というものは結婚するべきではない。という演説をぶつもの。党の会議で。ちゃんと奥さん居るんだよ。彼はね。

今西 コロントインニズムっていうのがありますけれどね。

水落 そうそう。自由セックスみたいなもんなんだよ。広谷のはね。それがね、聴いている者には半分以上そうかなって思わせるものがあるの。7回大会に向けて、色々なものが混じりあいながら8回大会を迎えたんですよ。

今西 誰が委員長だったんですか？

水落 その時の機関とか選出母体が確立していませんから、活動者会議で決めた時に、始まりが村上（由）で。暫定のトップがね。後は西館さん。北海道のあれから言うと、初代が武内清なんです。二代目が中川一夫。又すぐ余市の診療所へ入ってしまって。三代目が西館さんで。50年問題があつて六全協があつて、中川一夫さんはまだ療養所にいたんですよ。その経過にも関わっていなかったこともあつて、序列からいくと西館さんより上なんです。中川さんの方が。7回大会に向けて、西館を中心にした体制にして、広谷は宮本顕治にとりいってすぐに中央の方に行ったのかな。いつ行ったのかな。8回大会の時はいなかたつたから。7回大会終わつての人事で行つたんじゃないかな。

しげかず そうかもしれないです。8回大会が1961年だから、その頃に中央に。

水落 1960年頃にね。西館さんを中核にしてやって、中川さんが復歸したのはいつだったかな。だいぶ後になるんですが。両方とも隠居の時だったんだけど。西館さんが身体壊して行くということになって、耳つんぼであれなんだけど、中川さんの方が大先輩だからね。それで一回中川さんが委員長になって。そんなことでずっと来たのかな。

しげかず 六全協の後、北海道の再建とか活動者会議みたいなものがあって、それを召集したのは吉田四郎ではないんですね。その時はもう吉田四郎はいなかった。

水落 吉田四郎はいわゆる六全協が出て、皆から突き上げられたり。結局は逃亡したという形になったのではないかな。いやあ、俺もね、年寄りが全て四郎が悪かった。広谷がいかん四郎に痛めつけられたかっていうことで。俺はちょっと腹に据えかねて、全部なすりつけるのは何だって。言ったら今度は俺が攻撃されたりして。ひどかったんだよ。四郎の間違いもあるよ。あるけど、広谷だとか、年とった奴が。四郎はまだ20代でしょう。その指導で俺が酷い目にあつたと言っても20何歳くらいでしょう。30なってないでしょう。俺より二つ下かなんかなんだよ。四郎はね。俺も年が似ているものだから、年寄りが四郎のせいだなんて、騙される方もおかしんじゃないかって。逃亡したっていうけど、いなくなるのを黙認したっていうせいもあるんだよね。大阪に帰ったのかな。四郎だって弁明することあったんだと思うだけどね。公式には7回大会ね、8回大会に向けて、あと、四郎がどうなっているのかということは正規の機関の中には提出されていないの。

今西 その時、50年問題で捕まったり、火災瓶闘争やったり犠牲になった人がいるわけでしょう。その人達の保証はどうしたんですか？

水落 党側から、除名されるべきではないのにされた人とか名誉回復の問題がありますよね。それは広谷が拾って、名誉回復ということで機関に出したけれど、そこから漏れている人が沢山いるんですよ。北海道にいなくなっ

て、本州の方へ行って、本州の方で死んでしまったとか。北海道でも埋もれたままというのもあったかな。8割くらいは名誉回復という形はね、だけど、物質的に色々なものについては機関は能力もないから、謝ってあるいたりね、色々して、古いので何処かで残っている奴がいるかもしれないが。

しげかず 著名な人では柄沢とし子さんは、六全協前に名誉回復されています。

水落 柄沢さんとは俺は50年問題、あの頃から、1回、戦前からの女性活動家の色々な犠牲の問題とか、そういうことで、柄沢さんが結婚してから北海道に来たことがあるんですよ。何処で名誉回復になったか。

しげかず どの時点で名誉回復になったかと？ 確か早い時期だったと思います。宮川寅雄と同じ時期だったと。

水落 俺の場合は道段階では排除はされているけれど、曖昧な形だけど、7回大会8回大会で、部署に就くのが名誉回復みたいなものなんですよ。地区レベルの関係では、何処かの地区党会議でははっきりね、党会議の決議としてね、送ってくれるところもありましたけれど。俺は直接は地区党との関係はなかったんだけど、地区レベルでもそういうものについてきちんとすべきだとの方向づけはしていたようなんですよ。

しげかず 例えば、林白言なんかは、その前に共産党を離れたんでしょうから。

水落 林白言はね、50年分裂以前ですね。白言の除名問題ってちょっと異常なんですよ。どっちかというところ、白言は党に入ったのは国労の中央部で入って。本当は朝鮮人問題の色々なことでだけど。白言は何で除名になったのかな。

しげかず そうか。在日朝鮮人だからということということで考えられますよね。

今西 六全協以後、朝鮮人は共産党から追い出されますからね。

水落 彼は文筆家ですからね、文学的なこともやるしね。僕は白言が除名されてから書いたものは見たことがないんですけどね。その頃かその後で僕

はあそこ（北見）を離れているから、彼がどういう風にして亡くなったかも知らないでいるんですけれどね。

しげかず 山田宗睦は結局名誉回復されたのかな？

今西 あの人には自伝を書いているから。

しげかず 除名された後、離れてしまったのかな。

水落 白言はね、党から除名はされてはいるけれども、北見の文化人の「北見文化」という、かなり意識を持っているんだけど、白言はその中で。

しげかず 文化賞も受けている。

水落 著作活動もやったり。後から書いたものももらって読んでみたりしましたけれどね。だけどあの時の除名って何だったんだろうかな。

今西 水落さんは、「所感派」だったわけでしょう？「国際派」を支持したわけではないでしょう？

水落 「所感派」ってのは、コミンフォルムのあれ出た時の、だまされたのかどうかはしらんけれど、ちょうど本部に立ち寄った時にそうだったから、「所感」ということで律がね、木造の本部の二階で志賀なんかとガンガンやっていたらしんだ。下りてきて、いわゆる「所感」を述べたわけ。

今西 いわゆる地下活動をやりだしてからは、志田派が握って、ビューローをつくってきた。吉田四郎がビューローのトップになったわけだけれど、そのビューローが実権を握ったわけでしょう。そこから外されたわけでしょう。同じ「所感派」と言っても、ビューローからちょっと距離を置いた人達がいるわけですよ。

水落 ある意味ではね、分裂してしばらくの間っていうのは、どちらかと言えば、簡単に言えば、「所感派」の方に寄っていたみたいなものなの。ただね、しばらくしてからね、「国際派」だとして「所感派」が除名運動みたいなのが始まったんですよ。この間お話したように、紋別の中浜明、万次郎の孫なんですよ。リベラリストでね、それで、東大とか京大の文学部の哲学を出たり、金持ちの息子だからね、北見へ来たんですけれどね、その人と親交があって、そういう人っていうのは、どちらかと言うと「国際派」扱いされるのさ。除

名運動を大々的にやりだした時期があるんですよね。中間幹部は俺は何人首切ったというもんでね、戦国時代に何人首とったかというみたいに。俺が徹底的に「所感派」にたてつき始めたというのは、中浜明を除名しろというのが俺に入ってきたの。それで、絶対駄目だと。それが、「所感派」に対する抵抗の始まりなのかな。それで、理由がないんだよね。命令されてやっているのは。道役員級と称しているんだけれどね。俺は「所感派」でも「国際派」でもないと思っているんだけれどね。

今西 7回大会までは中心にいなかったですよ。

水落 いなかったです。7回大会までに、六全協から広谷みたいなペテン師が握ったんだから。その頃の代々木の方と、だから西館体制だとかそういう形がようやく確立した形が出来てきたというのは7回大会になってからでないかな。7回大会になってもまだ広谷の影響はありますからね。

しげかず それは中央もそうでしたよね。中央で宮本・志田体制になった時、50年分裂の責任追及ということで、人的にパージされたということは、その時、志田重夫は残っていたわけだから、北海道の場合には、50年分裂の中心になった人は責任を追及されて、党機関から外されたとか逆除名されたとかそういう事実はないんですか？

16 「白対協」をつくる

水落 中核自衛隊とか、こう、跳ね上がり的な、それは前にも言ったけれど、実にお粗末な。火炎瓶だとか何とか言ってみたって、線香花火みたいにちよろちよろやって、一部始終は全部向こうの方が情報を握っているんですよ。例えば村上国治が札幌委員長と言っているけれども、本当の意味では分裂した後のビューローの勝手な委員長であって、その後、復活した時の、責任追及というテーマにもならないんだね。僕が8回大会の後ね、常任委員会の中に入って、白鳥事件とか色々な事件の、後の対策をやるという時に国民救援会でやらせようと思ったら、そんな実態もないしね。対策やる時に、要する

に、白鳥対策と言っても、白鳥警部射殺事件については触るな、というのが代々木からの話なの。だから、白鳥対策と言っても、白鳥警部射殺事件については、法廷でね、無実を争う範囲だけにして言う白鳥対策なのさ。それは、東京ではそれでいいかもしれないけど、北海道で言えば、実際に村上国治は刑務所に入っていて、それからそれに関連する被害者・犠牲者もいるわけだから、地元としてはほうっておけないですよ。実際には8回大会に入ってから、どういう体制にしようかなと思うけど、江戸時代でも、將軍家としてはそうでも、藩としては、自分の身内が刑務所に入っているから、その救援だとか、裁判をやる時に、村上はやっていないということの為の、白鳥警部射殺事件を取り扱う。限定されたんですよ。

今西 あれは冤罪だということは中央から言われたんですか？

水落 要するに、共産党としては、今の共産党としては、「俺は知らない」と言うことが基本的な見解さ。我々とは関係がない分裂した連中がやったことだ。それを広谷もそう言うんだけど。それはその時の基本方針で。

今西 でも「白対協」でも方針は変わらないわけでしょう。「白対協」を使って60年代には、白鳥事件は擁護しなければならなくなってくるわけでしょう。

水落 北海道で61年頃になって、いや、俺も一回冤罪で刑務所に入ったりしているから、ほうっておけないから、何とか体制で言って、始めに作ったのが、白鳥対策と芦別対策。61年だな。救援会があてにならないもんだから人を集めて、それを作って。それからしばらく経ってから、全国に「白対協」を作ってこちらから人を送って、金川か誰かね。金川三郎っていうのがいたんだよ。全国で、そういう枠つきの中の運動をやることにはなったの。

今西 10年かかっているわけですよ。

水落 そうだね。

しげかず その間に、大衆的裁判闘争で松川事件が大きかったと思うんですね。北大の関係者の話を聞いても、50年代のかなり遅い時期まで、白鳥事件は課題にはなっていなかったと言うんです。58年か59年頃になって、「白鳥

事件」「白鳥事件」と騒ぎました。河野民雄さんがその話していたよね。そういうことらしいですね。

水落 北大でも白鳥事件との直接・間接的に被害も損害も受けているからね。

けいこ 水落さんに訊くのですが、白鳥事件については「触るな」という党中央の方から命令が来たということなんだけれども、と言うことは、宮本顕治も白鳥事件については薄々知っていたわけですか？

水落 知っていたかということ？

けいこ どうもこっちがやったんじゃないかと言う。

水落 そういう内容に触れる公式見解は一切ないの。無罪であるとか冤罪であるとか。六全協が終わって7回大会以降の、中央の機関としては、我々とは関係がないことだと。関係があるのは分裂した一方の側のことあるから、コメントはしないと。だから一切、報道機関から訊かれても、返答はそういうことなの。

けいこ そういうことをわざわざ言うということは、党中央としても白鳥事件のことは、実態を薄々は知っていたと言うことでしょう。そうでなかつたら、そういうこと言う必要はないでしょう。

水落 7回大会後、広谷も中央にいつているんだから。

けいこ 聞いているわけですよ。中央は。

水落 聞いているでしょう。

今西 具体的には鶴田倫也にしても、白鳥事件を起こした連中が中国に行くのは55年以後なんですよ。と言うことは、六全協後に行っている。共産党で言えば、統一が終わってから後です。川口さんもそうだけど、中国に行かされているわけで、知らなかったということにはならないですよ。

水落 共産党としては、知らぬこととございます。というセリフになっているんだよ。

けいこ 知らないわけがないでしょう。

水落 川口の場合？

けいこ 鶴田倫也だって。

水落 そこはちょっと判らないわ。中国共産党との関係なんか言っても、中国共産党も関係があるからね。中国の場合は、自分がおかしいことをしたら、そして起きたことについては、ある程度、責任を負うというのかね。革命は鉄砲から生まれるという。その後の中国の共産党は、中国の指導部がぶつけたわけではないけれど、その前のコミンフォルム声明出す時期くらいの、ソ連共産党とか。中国共産党は毛沢東とかが樹立した直後だから。

しげかず 劉少奇テーゼで押し付けたようなものだから。

水落 そりゃそうだ。中国は匿うわけなんだよ。そういうのを。亡命も受け入れるしね。

しげかず それは日本だけではなく東南アジアなども皆そうでしたからね。

今西 北海道の委員会は、タッチはするなと言うことで、公式にはタッチはしていないとお考えですか？

水落 それって言うのは白鳥？

今西 白鳥事件です。

水落 影ながら、白鳥、芦別対策委員会を作るのには、俺が実際に入っていたんだから、ある枠は中央からきているけれど、北海道に限ってだけ言えば、村上国治は刑務所に入っているし、救援をせんきゃならんし、裁判ともなれば、杉之原先生を弁護人にして、策もたてなきゃならんし。現地では、「嫌」とか「俺知らない」とか言ってられない。

今西 川口さん達を逃がしたことにはタッチしておられないのでしょうか。水落さん自身は？

水落 俺はね。

今西 知らないところで済んだ話でしょう。

水落 全然。川口はね、俺はあれが日本へ帰ってきてから、たまには顔を会わせていたんだよ。あれが中国に渡った理由とかは、他の人が渡ったのとは違うんだよね。

今西 他の人は白鳥事件に直接関与していますからね。

水落 だから、川口が何で。向こうへ渡らなくても身の安全はね、日本で保

証されているんだよ。何か悪いことを言ったわけでもないし。白鳥警部射殺には直接は関係がないの。中核自衛隊に関係していた。敢て言えば、そういうことなの。ピストルに実験なんかには関係していないの。

けいこ わたしが聞いているところでは、川口さんが実行犯の佐藤博の逃亡に深く関与していたことで、中国に逃亡することになったと。川口さんの知り合いのところに佐藤博を逃したということがあったらしいのね。白鳥事件そのものには深く関わっていないんだけど、その後川口さんが関わっていたものだから中国にやらされたと。

水落 それはやっぱり証拠もいるんだよね。ある範囲の知っている者だけの証言を集積してもね、真相も出てこないし。川口の中国行きに。あれが帰ってきて、20何条で本屋やっていたでしょう。

けいこ 亜東書店。

水落 俺もあいつのところへ、本屋へ行ってさ、さしさわりのないやつを買ってやったりさ、生活もかかっていると思うからね。俺も調べようという気もおきなかったからね。川口と会っていてもね。川口の中国行きとか、帰ってきたとかには、ちょっと判りづらいところがあるなあ。

しげかず 一般的に50年問題とか北京に行っていた人達は白山丸で帰ってきたんだよね。白鳥事件関係者だけはずっと中国にいたわけね。川口さんが帰ってきたのは1972年でしょう。これは明らかに、50年問題の亡命者とは違う。

水落 川口は割合、俺の側近でいたんだよ。レポーターみたいなことをしたりさ。

しげかず 川口さんって、ご兄弟が沢山いたんでしょう。一番上の方が札幌で初めての共産党の市議で。

水落 まあ、タッコ・タッコって呼んでいたんだけど、あれが次男坊さ。三男坊が士別に残って。あの人は最後まで党にいたのかな。町会議員とか市会議員をやったりね。異端者はタッコなんだよ。だから身内の葬式あったりね、色々なことをした時に、呼ばないわけにもいかないし。兄弟達が真相を

知っているのか知らないのかは判らないが、ちょっと異端者扱いしていた。だから、市会議員の川口の娘なんかは、俺にさ、「いやあ、あの叔父は」何とか言ったりもする。

今西 川口さんは毛沢東支持で除名されるのでしょうか。

水落 50年問題の前くらいの時ね、中国革命がグワーツと進んだでしょう。毛沢東の名前の『中国革命の戦略問題』とか色々な本が出て。中国はしょうがないんだよね。議会も何もないんだから。毛沢東が書いたわけではないけどね、欠陥もあるけれどね、中国そのものに当てはめて、どうやって敵勢力を潰していくかという戦略はたいしたものだね。俺も読んでね、そのまま行けば毛沢東主義になるくらい読んだけど。日本で実験しようと言って、北見のこっちの山からずーっと向こうの山の方まで登ってみたけど、そこでは飯が喰えなくて。でも、そういうことを飛び越えて、それに酔ってしまうと、やってみようと言う気を起こすかもしれないの。

今西 中国のああいう軍事方針をつくったのは、『球根栽培法』とかいうのを書いたのは？ 志田グループが作ったんでしょうけど。誰が中心になって。あんまりそういう話、聞いたことはない？

水落 俺もね『球根栽培』はもらったりね、見たりしたよ。我々の年代っていうのは、結構軍事訓練されていたり、軍人でなくても機関銃、撃ったりさ、拳銃、撃ったりは、練習させられたりさ、多少軍事戦略とか興味あるでしょう。『球根栽培』は僕も持っていたよ。だけど、俺が一発中国の真似をして駄目だったのは、置戸の山ね、若い奴一人連れてさ、手ぶらで行って生きられるかどうかって実験したんだから。それからは「球根栽培」はあんまりね。読売新聞の山根っていうのが、全国オルグで来ていたんだけど、あれがやっぱりインテリだからさ、俺が四全協の前か何かに、俺は実際にやってみて、いわゆる「山岳主義」なんていうのはどっかの国ではやれるけど、日本みたいなところでやったらどうにもならぬよ。あれは。熊しかいないところで、何でやれるの。言ったら山根も同調してね、山根も外されたんだよね。五全協の軍事方針が出た過程で、色々議論もあったわけだから、軍事方針的

なものに反対する奴は外していったわけさ。だけど一遍に消したわけでもないんだよね。

今西 血のメーデー事件をみても、賛成派と反対派とで物凄く対立して、増山さんらは外されたと言っています。メーデー事件に反対して、軍事方針を出すこと自体に反対した人もいます。内部でも志田派と言っても一つではなくていくつかの意見があります。

17 政治結社と軍事結社

水落 吉田四郎なんていうのは年が違わないものだから、結構、人に聴こえて悪いことも喋ったんだよ。あれは陸軍士官学校を出ているから、上からガッチと言われたらそれきりだものね。今の党の中間機関までの幹部の人って、宮本さんがトップリーダーで実権を握って以降に座った人なもんだから。そして昔の話を聞こうともしないし、聞きもしないんだよ。だからほとんど知らない。かえって、俺なんか喋っているのはこのような研究者とは別としても、そうでない人が何か興味を持って聞いてくれるでしょう。喋って駄目だということもないんだけど。

今西 知らない人が圧倒的に多いですね。

水落 政治結社も軍事結社も実際は同じなの。軍事結社と言えば軍隊そのものだったりね、そこの規律というのは憲法以上ですからね。ある程度政治結社というものは、神代の時代から、軍事結社と同じようなものを持っているんだよ。

今西 そうなりやすいですよ。

水落 今道委員会の幹部級、喋ったりすることはほとんどないの。今の道委員会の書記長か、あれが55.6歳かな。白髪になっているんだけど、どこかの地区委員長になってきた時に、20代で国家公務員を辞めて、常任になりたいて言ってきた人なの。その頃は全国的にはトップリーダーは宮本顕治だし、だから今は道委員会の書記長にしても、文献で読んだり聞いた範囲では

昔のことを考えるけどほとんどこの世のものだとは思わないようなセンスだよ。かって、歴史なり歴史的に追求しようという人間は暇な人間でないといけないから。暇な人間か、金にもならないような凄い追求力があってやるかね。

今西 経験がないんですよ。我々は1970年頃、大学紛争を経験していますが、それ以後の世代はまともな大衆闘争をやった経験がないでしょう。それですぐ共産党の幹部をやっているわけで。だから、大衆運動とか人を組織した経験を持っていないわけでしょう。

水落 俺も色々なところへ行って物を言わないようにしようかなって。4月1日に一切この世に判れようと思って、家の中を片付けたの。そうしたら、度忘れ勘違いでね、ああ、これは駄目だと思って、4月2日から。エイプリルフールさ。家の中を片付けたら、緊張感を抜いたらひどいもんですね。抜かなくなつて90歳になったらおかしいんだから。

けいこ 武装戦術というのは野坂さんあたりが書いたのとも違うんですか？

水落 野坂参三は、あれはあれだよ。延安にいてもあまり使い物にならなかったんだよ。捕虜を集めた政治学校とか。いや、野坂参三は書けないわ。だってね、あの人の本職ってのは、研究所の仕事をしたり、イギリスに留学して。

今西 あれだけ長いこと中国にいて中国語を喋れない。

水落 日本の軍隊で捕虜になった奴の教育を。この間、野坂参三に教育を受けた奴で札幌にいた奴ね。死んじゃったけどね。

けいこ 何という人？

水落 安孫子登。

けいこ わたし、聞いたことあるよ。安孫子さん。文化関係をやっていませんでしたか？

水落 文化関係だけど、いわゆる文化事業部さ。

けいこ 安孫子さん、亡くなったの？ そう。

水落 去年。彼は中国で捕虜になって、野坂の捕虜学校で教育を受けて、それまでは、天皇陛下万歳ばかりでね、それで帰ってきて、彼、函館の国鉄

出身かなんかで、それでページかなんかやられて。

今西 60年代に、中央委員会に行った時には、結構八路軍にいた人が多かった。

水落 今、水戸に行っていると思うんだが、長野県の貧農出身で、満蒙開拓団いたでしょう。10代で八路軍に入って、ずーっと南方まで追って行ってね、その頃と同僚が八路軍の偉い方になっちゃってさ、僕がアメリカとかその頃のソ連とかイギリスとか、一番最後中国が歩くんだと言ってね、1980年頃かな、その頃、目の大出血して駄目になったんだけど、そいつがね、俺が中国を歩くんならついて歩くって言うの。その頃、八路軍でね、だーって一緒になった奴がね中国の解放軍から上に上がって政府の偉いところにいるんだって言うのさ。俺が行く目的というのは東京で傀儡政府の南京から来た、ヤンイーというのを俺まだたぐっているんだけど、スパイの疑いがある奴なんだけれど、何か手がかりがないかなって言ったら、俺と中国へ行って、そういうことを調べている奴に会わせてやるからと。それで終わりになっちゃたんだけどね、八路軍にね。さっき言った我孫子はね、捕虜になって野坂の学校へ入ったけど、僕の友達ってのは戦争が終わった途端に少年の満蒙開拓団から八露軍にすぐ変わってだーと転戦して南方へ。そういうのもいるしね。

今西 あの頃は八路軍経験者は多かったですよ。

水落 8回大会終わってから、中国寄りになった時期があったの。俺が、伊豆の学習会館かな、袴田と宮本が中国から帰って来て、何か中国批判が始まった時かな、それまでは中国一辺倒さ。あの伊豆の学習会館を握っている連中も中国一辺倒でね。

今西 地区委員会とか民青の委員会へ行っても、毛沢東の写真はレーニンの横に飾ってありましたからね。『紅岩』とかいう小説もありましたしね。中ソ論争があって。

水落 毛沢東はまだ建国したばかりだったけれど、スターリンと一緒にあって、その後も。

今西 今では、朝鮮戦争は金日成が主導してと言われてますよね。

水落 コミンフォルムの？

朝鮮戦争そのものの検討にしても、まだ終わってないんでないかな。

今西 朝鮮戦争の後、共産党が急に軍事化するのも始まってからですからね。

四全協・五全協はそうでしょう。

水落 宮本顕治が中国に行って、毛沢東とあわなくて、それから何時と面会の保証もされないうちに北朝鮮に遊びに行ったんだよね。あの頃、金日成と気が合って話さ、帰って来て、俺達の委員長の帰国談を聞いていたら、宮本顕治が金日成にショパンのソナタを聴かせたんだって。内の西館委員長なんか漁師の倅だから、宮本さんの話を聞いて、政治というのは、会議ではないんだよ。側近を集めて、西館さんが話したんだけど、全然芸術的でないの。

しげかず そういう話は大切ですね。そういう話は何処にも書かないから。

水落 今まで喋ってね、めくらなのに校正してくれって言うから四苦八苦してやったんだけど、そのまま出したって、要するに分析になっていれば。表向きも誤りとか違いというのはあるかもしれないが、本質的に内面的に同じということは有り得ないんだから。喋った人と書く人と、間違いなく字は合っていたって真髓のところは違うかもしれないから、おれはいいんだと思うんだけど、四苦八苦、二転三転して。

しげかず 今の話でね、歴史的事実を確定するということではなくて、そのこともひとつの材料にはなるんだけれど、どのように語られてきたのかということ。聞き取りというのはそのところが大事だと思うんですよ。わたしはどう聴いたのかということ。方針というのは、これは形になっているから、しかし、その方針を受け止めて実際に実行するのは個々の人間だから、その人間がその方針をどのように聞いたのか、会議ではどのように議論されたのか、自分ではどう受け止めたのか。今のはエピソードなんだけれど、そのところが大切だ。

水落 人間はきちんと彫刻の塑像のように造られているものではないんだから、俺はこの人（けいこ）に言ったんだ。絶対に俺の命が危ないということについては言わない。先生（今西）の『北東アジアのコリアン・ディアスポ

ラ』。俺読めないからアシスタントを頼んで読み上げさせているの。俺の流儀で言えば、モニュメントの解説で、アンデスの遺跡があるでしょう。今になったらあれ(天文)だったっていうのがあるでしょう。文献歴史学の系統のひとつなんだけれど、モニュメントに書かれてあることが本当なのか嘘なのかという検証の文献歴史学とか、そういうのもあるけれども、歴史学でも違うところもあるしね。俺が今日、言いたかったのは、山本さんはテーマで何とかという気はあまりないようなんだけど、4人固まって、夫々のテーマでと言うのは難しいのではないかと。4人が集まるのはいいんだけどね。この人(けいこ)と電話する機会が多いんだよ。校正がどうだとかこうだとか。何に興味があるかと言えば、ゾルゲの問題ね(けいこがゾルゲ関係で水落さんに問い合わせたことがある)。俺はゾルゲの後の問題には興味があるけどあまり触ったことがないの。手島の旦那が何に興味を持っているのか俺は知らないんだけど、夫々あるでしょう。先生(今西)の方と一緒にずっとやっている間に。こうメモリしたものを直すという間に協力したとしても、夫々にテーマを持っている。テーマ別でも面白いものもあるし。

けいこ 水落さんとしては今西先生が何に興味を持って、どういう手法で追求しているのか知りたい? 手島の旦那が何に興味を持っているのか。訊きたいんでしょ。

水落 訊きたいのもあるけど、旦那は他のことで忙しくてさ、俺を相手にしている暇はないんだろって思っているから。問題によってはこここのところ、夫々があると思うの。俺は山本がコーディネイトしてくれると思っていたらしないから。

けいこ だって、それは興味関心が違うから。

18 1960年代のこと

今西 1960年代の方に行きます。

水落 日中会談的なものが袖にされたというのは、63年64年頃ではないの

かなあ。64年というのは日本でもぐーっと中国寄りというものがあったりなんかして、袴田・宮本が帰ってきて。宮本が金日成に会いにいった頃は袴田と一緒にいったのかは何処かを調べてみると出ていると思うんですが。

今西 60年安保闘争の時は、何をやっておられたのですか？

水落 安保の動きが始まってきたのは58年頃ですかね。警職法その他でね。僕の身分は、58年から北海道にいて、道委員会と関わっていたけれども、身分は中央機関紙経営局の職員みたいになっているんですよ。だけど、札幌に居て札幌の人間だから。警職法・安保と言っても、俺は若いけれど、西館さんとかご老体が幹部に多かったの。伊藤謙もいたかな。俺は道の常任ではないんだけど、デモをやるとなったら、マイク持ったりさ、色々なことをして。道委員会に金がなかったせいもあるけど、でかいスピーカーを買ったりして。身分はそうではないんだけど、警職法とか安保とか札幌でデモをやるとなれば、やってました。

今西 北海道では炭鉱が中心となって、だんだん北教組とかが主体になってきますよね。北教組の運動とか国鉄の運動とかが中心ですね。

水落 警職・安保の時の中核というのは国労ですね。それと機関区系統というのは完全に分裂はしていなかったの。

しげかず 動労ができたのは1960年前後かな。

水落 国労そのものの、大衆運動的エネルギーの中にはまだ、機関車関係ね、機関関係も一緒に入っていたし。苗穂工機部とかね。固まってきましたから。警職・安保の闘争力の中心はあの頃はやっぱり国鉄ですね。安保の闘争の時には、汽車も止めたりしましたから。

今西 国労はどの地域が一番盛んだったんですか？

水落 一番強いのは札幌ですよ。駅関係もあるけれども、苗穂の機関区とか構機部とかね。室蘭の方も強かったかな。旭川も結構強かったんですよ。北見の国鉄も、まだその頃強かったかな。

しげかず 60年だと北見だと線路が沢山あったでしょう。国鉄の従業員が凄く多かったですね。それとまだ鉱山がね、70年になると劣勢になるけど、60

年頃はまだ鉱山がありましたね。北炭・三井・三菱。

水落 鴻之舞とかね。炭鉱が札幌まで来て運動をするということはないけれど、全鉱関係、炭労関係。結構まだ力が残っていましたからね。

今西 小樽商大の浜林正夫先生、彼は労働学校などでしょっちゅう講演をしているから、当時国鉄で小樽から札幌まで運賃ただだったという。顔パスで通してくれたという。それくらい国労の力が強かった。

水落 浜林さん一橋へ行った人？

今西 60年安保闘争の頃、むちゃくちゃ労働運動が強かったという話をしていました。

しげかず 60年安保の頃、先生、ここにいたんだ。

水落 あの人が一橋に行ったのはね。

今西 まず東京教育大へ行ったんです。東京教育大が廃校になって一橋へ行ったんですよ。お父さんが小樽商大で商業英語の先生だった。

水落 それじゃあ、小樽からすぐ一橋へ行ったのではなくて。東京教育大が筑波の方へ行ったんだな。

今西 親父さんがイールズの通訳をやっていた。小樽商大を遣したのはイールズなんです。

しげかず それじゃあ、小樽商大の恩人ではないですか。

今西 イールズは最初の頃は、割と民主的でした。

水落 昭和39年、1964年、昭和39年は東京オリンピックかな。その前段で北海道の大凶作があったんですよ。大凶作で農民が困ると、農民を含めての季節労働者ね、全国の経済不況とも関係してね、凄い困窮状態が起きたんですよ。

今西 本州では3.8（サンパチー昭和38年）豪雪です。山林労働が崩壊しました。

水落 その頃、北海道に道会議員がいなかったんですよ。道に対する下からの要求が運動的に強まってきて、社会党の良心的な道会議員ね、頼んで色々とするんだけど、どうしても道の議員を出せというのが党の要求ではなく

て、参加した人達の声で。それが土台で農民組合の再建とか農村労働者の組織とか、進んで。共産党としてもさ、この際仕方がないから道知事に委員長でも出しておくかと。木南貫一というのが初めになったんだけど、重たいものだから、北海道中を盛り上げてあれを当選させないと。その頃によく戦後の、それから50年分裂とか、六全協の痛手を癒して、こうやってぐっと盛り上がる時期に炭鉱が潰れるとか、色々な中で。そういう盛り上がってきた中で少し体制も創られたというかな。

しげかず 道議の最初は小樽でしたよね。

水落 いや、木南貫一です。その次が小樽の本間。札幌でも全日自労を中心に、札幌で一人と。函館でも。初め一人で次に四人になった。

今西 60年安保の思い出はありますか？

水落 僕は運動を推進する主役ではないんだよ。けれども体力があるものだから、国労があつた頃、泊谷って言ったかな、国労で全道労協の委員長。

そうそう。息子、俺の家の近くに居るんだよ。労金かどこかに勤めた。

しげかず そうなんですか。

水落 僕はその頃、大衆運動の全部に関わるというのではなくて、部分的にデモに行ったり、汽車を止めた時の、現場の方でアレしたというくらいで。むしろ全国的なニュースの方が、樺美智子の事件とかさ。

今西 樺事件はやはりショックでしたか？

水落 それはそうだね。安保反対の運動の中に分裂が入り始めたでしょう。

今西 唐牛健太郎。ブンド（共産主義者同盟）の委員長が北大から出たわけですから。

水落 唐牛と、あの時書記長が今の教育大の教授でしたね。

今西 二人とも亡くなりましたけど。

水落 僕の安保の記憶と言ったら、北海道でも展開したけれども、リーダー的な関わりはなかったものですからね、全国的な展開にアレするとか。61年に、「1961年綱領」が創られた、そこからの押し上げに安保闘争があったというかな。そういう方の印象っていうのはありますけれどね。闘争そのものは

ちょっと参加したという程度です。

今西 国労の闘争は激しくて、ストで車を止めたわけですから。

水落 あの頃の国労の力はありましたからね。

しげかず 苫小牧と日鋼室蘭の闘争は記憶にないですか？

水落 直接現場との関わりはなかったんですよ。苫小牧の王子、室蘭の日鋼ですね。間接的には色々人脈も。

しげかず 豊島俊男さんは胆振かなんかだったですかね。

水落 あの人はね、戦後、朝鮮から引き揚げてきて、室蘭に来たんですよ。戦前からの活動家との関係があってね。奥さんが経理とかに強いもんで、室蘭の昔共産党に関係があった人が資本家で、大きなパチンコ屋を経営したり、そこへ奥さんが帳場さんみたいにして働いて、豊島さんは居候みたいなのかな。

しげかず それで活動ができたのかな。

水落 いや、初めはね、戦前は蔵原とか宮本とか同期の人ですからね、良く知っているんですよ。だけど何かあって転向という形になったかならないか。朝鮮に渡ったんですよ。

今西 転向しなければ朝鮮へ行けないですよ。

けいこ そうなんだ。

水落 そりゃそうなんだ。ただ、その転向の経緯は、やっぱり、いわゆる転向だと思うんですよ。偽装転向ではなくてね。その経過は、僕は豊島さんには聞いたことはないんだ。道の党会議とかね、草案作るでしょう。あの人が副委員長をやっている時期はね、結局俺にやらせるわけ。室蘭の豊島さんの家に行って、飯喰って風呂に入ってさ、一所懸命書いてさ、そういう付き合いはあるんだけど。豊島さんという人物について言うと、俺としては最後まで恩人なのさ。恩人て言うのは、この間お話ししたけれど、12回大会で、宮本顕治が結果として言えば、アイヌ民族抹殺論ね。俺はそれに対抗して。結果としては統一戦線綱領路線で扱うということで。宮本顕治は民族的に保護するというのを抹殺したかったの。だけどいいか悪いかは別として、俺の方

に野坂とか袴田とかそれに上田耕一郎とか不破哲三とかが、俺の方に片寄ったの。だから、採択されたのをちょっと見たら、ぼやけたものなんだけれど、宮本顕治が民族的云々というのが消したかったけれど消されなかったのさ。今西 少数民族としてのアイヌというものに、上田耕一郎報告にも入っている。

水落 そうなの。あれはもう10年前くらいから、不破だとか上田がまだ幹部に上がってこない時から、こっちの方で原案を作って相談していたし。豊島さんと大会に行っていてね、宮本顕治の側近の書記局長が来るでしょう。中川さんや西舘さんは受け皿にはならないの。豊島さんが最後まで頑張ったの。頑張った理由ってのは、昔のことがあるから、宮本顕治なんかにも正しいことは正しいこととして、あの人がずーっと最後まで頑張ったせいもあるの。そして又使いが来て、最終的に民族云々のその一カ所を消すか消さないかの、最後の答えをする時に、最後は豊島さんだけになって、中央委員は逃げてしまったわけ。俺は下げるわけには行かないという時に、豊島さんが、「そうか、そこまで言うのならそういうことで宮本に返事をする」といことで、あの人が最後まで頑張ったの。死ぬまで年賀状を寄越したけれどね。戦前宮本とか、共産青年同盟の責任者か、豊島さんが1回やったことあるらしんだ。しげかず 中央には行かなかったよね。

水落 あの人は北海道では無名の人だったの。引き揚げて来てね。田舎にいてね。六全協でのごたごたした時も、正面には出てこなかったんだけど、宮本執行部としては、豊島という人物が北海道に居てね、転向はしたけれどもさ、転向したと言えば西舘さんだって皆しているんだからさ。全部してるんだ。言わないだけで。豊島さんが最後まで頑張って、年にとって、息子が神奈川か何処かに居て、引き取られて、90何歳まで生きたのかな。ずーっと年賀状くれていましたからね。

今西 60年に又戻りますけれど、その後部分核停条約で採めますよね。あの時は北海道の党は問題はなかったのですか？

水落 あまり深い突っ込みにはいっていなかったんですよ。あれが、原水禁

世界大会とか波及したでしょう。

今西 9回世界大会で分裂して、10回大会が開けなかった。

水落 北海道では逃げたきらいもあるんだ。確か。俺も、原水禁大会に行くような役ではないんだけど、何回大会かな、ソ連との関係が悪化して、それでその後中国寄りになったのよ。今度又中国との関係で、なんかおかしくなった時に又、原水禁大会で俺が当たってき、行った記憶で、あんまり国際的理論問題、政策問題で突っ込んだ覚えがないの。知ってはいるんだよ。

今西 65年に日韓条約の時はどうだったんですか？

水落 そういう頃になったらね、北海道の方であんまりそういうね、情勢分析もね、理論的とか色々なことで、やらなくなったなあ。

今西 北海道は、あんまり分裂することはなかったんですね。

水落 北海道は50年分裂にしたってき、どこで割れたのかわかない形になるからね。

しげかず わたしは1960年以降に共産党に関わってくるんで、ソ連のことは知らないね。北大はブンドにとられたから、長いことソ連核実験で。共産党の中での動揺はなかったみたいね。中国の場合は何かあったような気がしたんですけれど。

今西 中国でも核実験やったですよ。それが日韓条約の前の年で。だから揉めるということではなかったのですか？ 多少印象的ではあったでしょうが。

しげかず 中国のことで、北海道では紛争になったり除名になったりはありましたか？

水落 ないですね。

しげかず ないでしょう。

今西 でも、中国派はいるんでしょう。日中協会だって現に存在するわけだし。

しげかず 例えば、中村栄治さんみたいな人はもうその頃は共産党は関係ないの？

けいこ 中村栄治さんは六全協ですぐ除名になっているからね。

しげかず だから、六全協以降はかなりすっきりしていた。

水落 理論闘争をやらないからね。

しげかず 最大なのは中野さんの問題なんだ。

今西 中野さんは何が起こっても理論闘争をやっているから。

水落 俺、中野徹三について言えば、先生からもらった中野徹三の経歴を見てね、彼の色々な反応が判ったていうことあるの。俺にしてみれば、生まれながらの共産党でもないし、もともとサハリンは共産党がなかった島でしょう。戦争が終わる前に北海道に入って来て、不審人物扱いにされて、共産党でなくても自民党にでも行こうかなという立場で。俺だって徳田トップ時代、除名のアレだってやられたことあったりさ。

今西 除名処分を受けているんですか？

水落 いやいや。結局立ち消えになっているの。さっき言ったアイヌ問題の、12回大会の。宮本顕治の後になってみれば、頭がいかれた時期の仕業だからね。正当に除名ということがあるかもしれないけれど、そうでなくてね、除名、除名って陰で事件もあるからね。種もないのに20人くらいに囲まれてやられたけれど。

今西 査問をやられたんですね。

水落 やられた。やられた。人間って不思議なもので。それまで、水落さん、水落さん、なんて言っていた奴が、こうやって囲んで、「そーら、しっぼが出た」とかさ。

けいこ そんなことやられたの？

19 選挙のこと

水落 いや、人間社会ってやりだしたらそうなるの。共産党に入るのだって色々な動機があるからさ。それが終わったら、けろっとしてね、俺そんなことやりましたかって顔をして近づいてくるのもいるし。俺は田舎者だから都

会の人の気持ちが判らないけれど、俺が間違っって選挙に出るとなったら、不破哲三と上田耕一郎、二人共応援に来たんだよ。

今西 立候補したのはいつですか？

水落 昭和で言うと 51 年かな。

けいこ 道知事でしたっけ？

水落 いやいや。道知事っていうのはずっと前だから。

けいこ わたし、何かで、壇上で水落さんが上がって何かの選挙で立候補する予定者ですって紹介された記憶がある。

水落 あれは、俺が 40 歳くらいだから、50 年くらい前なんだよ。おたくも若かったでしょう。

けいこ 学生でした。

水落 エピソードって言うのね、こっちの旦那（しげかず）にサービスするとね、あの頃、北海道に大きな集会所がなくて、中島の体育館っていうのが一番大きかったの。本当は道会議員をとろうということだったんだけど、知事候補に埋まらないものだから、結局俺がなったんだけど、それで氣勢を挙げようというもので、中島の公会堂の色々な物をとっぱらって、野坂参三が中央から来たの。俺が知事候補予定だったから、衆議員候補ってのがいるでしょう。木南貫一が道会議員で当選させようというから、5人の衆議員の後に木南がいて、候補者の話は最後が俺で、俺が終わったら野坂参三ってなっていたのさ。この連中が長々やるもんだからね、司会者が、俺は本当は5分だったの。走って来てね、長くなったから、水落さん3分にして下さいって。だんだん短くなったら1分にして下さいって言うの。野坂は小さいくせにそういうこと煩いんだよ。30秒でも自分のところへ来たら「うーん」ってやっているでしょう。一番最後になったらね、俺が出て行って帰ってくるまでに1分しかないの。仕方がないから、「姓は水落、名は恒彦。人呼んで水もしたたるいい男」って言ったらね、若い連中が物凄く喜んで、共産党に入ってきた奴がいるんだよ。野坂のところへ食い込んだら全然駄目でしょう。それで有名になったんだ。俺。その頃に若い青年で親や兄弟も共産党だから共産

党が嫌でね、だけど野坂参三も来るしね、聞いてみようかって、18歳くらいの奴かな、その話が一番気に入って。政策上で共産党に入ったのではなくて。そういうことがあったの。それで有名になって。その頃若いので今70前後で。戦後、選挙区選挙でひとつも取っていないからね。1区でさ、昔の中選挙区、荒井英二があっていたんだよ。

けいこ 出ては落選してたよね。

今西 京都では、北海道といえば小笠原貞子くらいしか知らなかったですよ。水落 小笠原さんなんか、いきなり北海道では当選しなかつたんだ。東京が全国区で1回なったのを北海道へつれて来て、それで当選させたのさ。

しげかず 全国でしたよね。

水落 全国でしたね。荒井を取り替えるとなったら、水落を応援してくれていうね、札幌地区委員会なんかに来たんだよ。選挙はただお願いします、では当選できないんだから。第1陣。第2陣。第3陣までね。仕組んで影の総参謀いかんでなるんだから、俺でなくて多田光雄ね。多田光雄は胃袋の三分の一を切って。「胃袋くらいなくなつて代議士になれる」って言って。本当に勝つ選挙つたらね、第1陣は北海道委員会並びに選対が、それにくっついて後援会。第2陣になったら候補の所属している会社とか弁護士事務所とか。その他に俺が言ったのは第3陣を作らなくては駄目だと。多田というのは戦前の東京帝国大学文学部英文科を主席卒業で銀時計をもらったのかな。人気もあるのと、荒井英二は「俺は死んでも候補はやめない」とごねるわけさ。「俺をここまでやらせておいて」。これを降ろすのにどうするかって。荒井英二って言うのは北海道滝川中学校で1年生の時に五十嵐久弥が5年生なの。五十嵐久弥は5年生の時から社会主義者って名乗っていたの。一年生が荒井英二さ。ずっと後だけど、同じ中学校で多田なのさ。俺の計算では、荒井を下げるにしても、共産党ではそういうことよくないんだけどね、俺がなるって言ったら、荒井英二は赤鬼みたいになって踏ん張って決らないから、多田にね、胃袋三分の一切っていたんだけどさ。本当に票がひとつも入らない時からやってさ、何べんも何べんも落選してね、まわりも、あの候補じゃ駄目

だって思っても、本人は思わないんだよ。死ぬまでやるのがボルシェビキだと思っている。多田を納得させてさ、その代わりに、俺が影の総参謀をやるからって言って。東大銀時計と言うもの利用したけど、北海道っていうのは中央崇拝が強いんだよ。野武士でこうやって反乱しているようできて東京からのご命令となったら「はー」つとこうなるんだよ。俺も1区の候補になっていれば良かったんだけど、荒井は、ボルシェビキを降ろすには作戦がいると思って、多田ってなったら、荒井も、「そうか。俺もこれまでやったけど譲るか」ってなったの。

しげかず あれは1972年選挙で、僕は全学連だったんですけど。

水落 そうだ。そうだ。1973年が12回大会でその前年だから。

しげかず 全学連にいたんですけど、全学連から見ても、それまでの立候補するだけの候補者ではなくて全部換えたの。宮本顕治世代というのかな、東京3区で言うと今までの古くから地元で運動してきた人なんだけど、入らないという候補を変えて、津金祐近を持ってきた。京都もそうだと思うんだけど、全国でそういう選挙をやったんですよ。

水落 だいたいね。東京は選挙が弱かったの。京都・大阪は強い。昔からね。

今西 京都は戦前からの活動家がいたから、選挙基盤がもの凄く強かった。戦後も左翼勢力が強かったですよ。特に学生が。左京区というのは例外的選挙区ですから。

水落 東京っていうのは官僚的な気風も入っている。京都は別なことで何度も行ったんですよ。そして、京都の街々を見たりさ。その他に仏教界とかね。大阪の幹部の知り合い。大阪府の常任委員級だよ。「水落君、根室の昆布、手に入らんかね」って言うんだよ。昆布を関西が欲しがると、業者の要求も汲み取って。北海道っていうのは東京を見習っているから。商人的なものはないんだよ。東京と比べて悪いけれど、京都のね、色々な伝統のところに入っていると、別なことでしょっちゅう京都へ行っていたからね。

今西 京都はちょっと他所と違うんですよ。北海道は広いから、選挙戦を闘う

のも大変だと思うんですよ。

水落 僕は穴が空いた選挙区、5区。別海、昔は村だったんですが、あそこひとつで四国くらいあるのかな。

しげかず 香川県よりでかいんですよ。

水落 香川県ね。別海があるでしょう。足寄っていうところあるでしょう。俺が穴のあいた所で立候補せって言うてみたのさ。十勝全部ね、釧路全部、北見全部さ。合わせたら四国より広いだわ。そこで、ガソリン撒き散らして、牛のお尻に手を振ってさ。峠の上、誰も居ないの。ここで演説することになっているから、「やれ」っていうことでさ、宣伝カーの上に上がってさ、誰も居ないんだよ。熊だって冬眠しているしさ。文句を言わせてもらおうと。それはそれで面白いところがあるんだけど。俺が見ていて、京都・大阪の選挙は。社会と共産党との繋がりとか、その中で伝統的な文化に対して、敬意を表している。

今西 民商の小父さんとか、中小企業の小父さんとかが共産党を支持しているでしょう。だから他府県と違うんですよ。宗教勢力でも、お坊さんが演説してくれたりね。そういうことをやるからかなり雰囲気が違うんですよ。最近学生が共産党離れをしているから、京大とか同志社とか、足腰が凄く弱いですよ。だから地方区が取れないですよ。今でも比例代表区でしか取れない。

しげかず 多田さんは1区で、その頃でも札幌は選挙人口が日本一だったのではないかな。定員が5人なんだけど、いつも定数改善問題で、問題になるのは札幌1区なのね。ここは、本当は8人くらいなんだけど、ずーっと5人で。だからいつも最高得票は札幌の第1区候補。全国最高得票なんですよ。それは、北海道が開拓農家と鉱山労働者が全部札幌へ来ているから。だから、典型的な都会型選挙。大阪2区は、東中さんが川上さんが。正森さんは1区だけ。1972年選挙。

今西 川上貫一は演説の天才でしたね。個人的な人気結構ある。

しげかず だから、六全協があろうが、軍事闘争があろうが一貫して議席を

守っているところは、そういうところ。

今西 戦前からやっていて、川上さんは戦前からの活動家です。喋らせたら滅茶苦茶上手いんですね。最近の人は下手くそやと思う。水落さん、出てくれと言うのは判りますよ。

水落 今の現実に関わって、共産党の中で喋るのは、口は災いのもとだと思って。今は昔。それも2時間も喋るのではなくて、5.7.5の枠の中に嵌め籠められるかどうかと。前にちょっと俳句をやっていたんですよ。俳句から離れて、川柳と思ったら川柳がお題で縛るようになってしまった。それで狂句。あれは間違っていて書くけど、コミックなんだよね。今さりげなく、今は昔と違って、共産党について調べることにしたの。ちょっと変えないと駄目かなと思ってね。

しげかず 共産党今昔物語。

水落 そうそう。結構、お座敷かかるんですよ。

今西 郷土史を語るというのはブームですからね。結局、北海道では1970年まで大きな分裂を経験したことはなかったんですね。1970年で選挙に出られたわけですけど、大学闘争はほとんど覚えておられないですか？

水落 大学闘争は、横から眺めていただけ。あの頃は何を担当していたのかな。あの頃は実際の政策立案の担当をやっていて。

20 農業問題の見方

今西 農業問題で論文も書いておられますよね。『前衛』なんかに。

水落 何に出ているかな。

今西 『前衛』に出ていますよ。

水落 あの頃の、党の全国的な見解というのとはちょっと違う。異端の見解になるんですよ。書いたあれっていうのは、土地問題も勿論ありますね。アイヌ問題もあるんだけど、要するに、北海道で面積拡大の方向でいく時に、規模拡大反対という、党の方針めいたようなものが出ないとも限らないとい

うことがあって。規模拡大と同時に、機械の問題があるんですよ。大型機械の導入そのものが悪いという、党の農業問題が入ってきているんで、僕は十勝の農村に行き、コンバイン。機械がいい悪いではなくて、その使い方がいいか悪いか。コンバイン問題はタブーになっていたんだけど、書いたことありますね。

今西 大規模農業論とか、コンバインの導入なんかは共産党は反対意見があったでしょう。

水落 僕が農民運動を直接やったかどうかかわからないんだけど、全国の農村講座をやってね、各県の農民部長級を集めてやったことあるんですよ。7つか8つに分けて、そこにボスみたいなのが組長になって。俺が第5組かなんかの組長になっていたの。そしたら、その組に、錚々たる理論家がいるんだよ。ラストに発表会があったんだ。要するに、構造改善事業反対がテーマみたいだったの。だから、色々議論して、やっぱり合わせるより仕方がないからさ、構造改善事業の、何分間か余裕があったから、逆のやつをそこで話したのさ。そしたら物凄く受けてさ。

今西 あの頃はまだ土地の国有化路線でしょうか。

水落 どうなのかなあ。北海道の農業と土地問題について言えば、全く話が合わないところがあるんですよ。例えば、西の方の農業から言ったら、水田を1ヘクタール持っていれば貧農とは言えないんですよ。ましてその前だったら、党でも1町歩持っている農家は旦那様なんですよ。だけど、北海道でね、畑作だから。

今西 10ヘクタールでも中農ですよ。

水落 十勝では10ヘクタールでもないと営農できないんですよ。10ヘクタールの相当部分をビート農業をやるように勧められたでしょう。そうすると、ビートの苗作りとか、前は機械がなくて畑に手植えをしていたんですよ。例えば、十勝芽室町で10町歩のビート畑をやろうとなると、町の役場の人の奥さん含めて木工場の奥さん含めて、いわゆる出面取りなんですよ。そういう人達の収入にもなるんですよ。ところがそれを、レーニンの『貧農に訴え

る』からいくと賃労働の搾取であると。だから、その10町歩の農家を中農と
いうか富農というかという階級区分の論争が始まると、機械的に「貧農に訴
える」から始まったら、これは富農だって言うの。労働力を搾取しているとい
うのさ。搾取するしないに関わらず、営農できるかできないかという問
題だから、俺はその時に言ったのは、今までのレーニンとか日本の特に西の
方の農業の形態とか所有を離れて、北海道の中農という名前にしてくれって
言ったの。富農にすれば、機械的にはあれはブルジョワジーで、農村におけ
る敵になるの。敵だって言って中央の農民部から派遣された農業をやったこ
とのない東大出の何とかという奴がベレー帽を被ってきてさ、演説ぶったこ
とあるんだ。馬鹿なことを言いやがってと思ったんだが。だから、その土地
問題と土地そのものがどういう所有形態で変化してきたかと言うことと、
ちょっと遡ったら、アイヌの土地の収奪まで関わってきて、しかも土人保護
法における土地所有のアイヌに対する法のやつが帳消しにされているわか
けさ。事実ね。だから、土地問題をやると、北海道ではずーっと遡ると歴史
的なことになってきたら、土人保護法にまで入ってしまうの。

今西 土人保護法では5町歩までアイヌの所有が認めているでしょう。

水落 そうそう。所有した分を保証すればいいんだけどね。北海道の土地
問題をやる時に、東北は東北で、九州は九州で違いはあると思うんですが。

今西 研究は西日本中心にやられていますから。北海道はよく判らない。

水落 そうですね。北海道でも道南の、やや東北に似たような農業とか土地
所有とかはあるけれど、まして、釧根方面とか、有畜農業とか牧畜とかなる
と又ちょっと違うけれどね。畑作農業の問題を言ったら、北海道の農業の解
決しないうちに時代がどんどん進展してしまっているから。

今西 開発が進みますからね。農業が潰れていきますよね。

水落 党の文献そのものではないけれども、あの頃の農民部の初めの部長が
何っていったかな。ああ、深谷さ。あとから雪野勉が、あの人達割合、アイ
ヌ問題とか北海道の土地問題について若干寛容な態度をとってくれたの。

しげかず 深谷ていうのは満鉄にいたの？

今西 帝国農会出身ですね。

水落 深谷進ね。俺は本人から聞いたんだけど、どっか関東の貧農の出身だとか言っていた。昔、「帝国農会」とかき、「農会」とかいうのあったでしょう。後から「農業会」というのができたけれどね。学歴はないんだけど、下っ端で一所懸命働いてあるいたり。

今西 現実を良く知っていますよ。古い農家の話とか。

水落 雪野勉は百姓もやったことないし。あれも陸軍士官学校。途中で戦争終わって、戻ってきて農民部をやっていたから。あれは山口県出身なんだ。雪野勉ってね。

今西 日農そのものは北海道は強かったんですか？ 土地問題は強かったけれど、その後次々と潰れていくでしょう。

水落 一番強かったのは小作農時代の。農地改革の時の運動でも農民組合という名前は使わないで夫々、「農村建設連盟」だとかなんとかかんとかという名前で農民が団結して、要するに小作農から自作農へと。強かったんだけども。

しげかず 十勝の方は農民同盟かな。

水落 農民同盟ですね。

しげかず 大臣になった小平の親父が空知でしょう。あれは一応日農系じゃあないの？

水落 先祖？ ずっと前は判らないね。本当の昔っていうのは、農民の運動組織では、全日農系の他に、全農系ってあったけど、だいたい農民組合を名乗ったんですよね。農民組合の先祖っていうのは、新潟でね。

しげかず そちらから入植したんだ。

水落 一番強かったのは上川方面ね。日本農民組合としてね。石島は農民組合の運動の方ではないけどね。

今西 70年代に入ってくると、公害闘争とか開発問題とか。ああいうのは共産党はあまりタッチしなかつたんですか？

水落 共産党というよりは、党とか組織でどうというよりは、そこにいた活

動家が。公害に対するとか、そういう運動に党員が参加するという形。それに助言するというかな。だから、共産党の農民対策部がどうしたとかということはありませんよね。

今西 北海道では、伊達の火力発電所問題などがありますが、あんまり大きな公害反対闘争はないですよね？

しげかず 泊原発はやっぱり全道労協が、最後まで実力闘争を続けたのは泊ですよね。最後は条例まで行ったんだけど。条例は否決されたんだけど、現地での原発の運動では泊はかなり。全道労協主体なんだけれど。公害は伊達の火力発電だね。

水落 公害関係って言えば、炭鉱の塵肺だとか、ああいうほうには力が入ったけれど、海山ね、あまりなかったなあ。

今西 イタイイタイ病とか出ていないんですよね。水俣病みたいな。

しげかず 建設もありますよね。

水落 今、鉱山がなくなったから。

今西 70年の中国派の分裂も出なかったですか？ 文化大革命の時の。

水落 北海道の場合は、そういうのが起きても、そういうのにあんまり突っ込んでいく奴があまりいないんだよ。

今西 学者はいないの？

しげかず いないね。帰って来た川口孝夫。こっちは(学園)紛争の時にML(毛沢東派)が旗を揚げたので吃驚したの。「ええ、こんなのいたの」って。

今西 北大では教官でも中国支持者はいなかったの？ 割と中国文学者って多かったんだけど。

けいこ いないよね。

しげかず 造反教授はいたけど中国派はいなかったな。

水落 何処かのところで個別的にあるかもしれないけれど、そういうはっきりした形でグループをとか、そういう形に北海道はならないんだよ。

今西 60年安保の時ブンドの灰谷さん、彼なんかは造反教授なの？

しげかず 北大の教職員組合は端的に言えば、日共の単独支配だったの。確

かに彼らはいただけど、圧迫されているのね。

今西 その割りに選挙をやると共産党は弱いんだよね。

しげかず だからキャンパス内存在なの。

今西 30年前に北海道に来た時も、なんでこんなに共産党弱いのかなって感じた。やっぱり北方領土問題なんか関係があるんでしょうか？ 引揚者が沢山いるとか。

水落 俺達のように北海道の共産党を代表してきたみたいに誤解されている人間はちょっと横から見ているようなものだから、皆死んでしまったからね。

しげかず やはり社会党が大きかったというのが強いんじゃないのかな。

水落 戦後、国鉄の職場放棄闘争とか、ちょっと極左的な運動をやって、立ち直ったと言っても、ああいうのを起こしているから、社会党を助けたみたいなものなんだ。だから、占領政策の時代なんかの共産党に対する色々な、アメリカを攻撃するんだけど、その時に社会党を助けたようなものなの。例えば、社会党の田中かな、知事の長官選挙なんだよね。その時に前に話たけど、人望があるのは菱信吉とか、それは黨員だったんだけど、でもバックから言うと、道庁だけでなくさ、全体から言うと、色々と脚を引っぱったようなことがあったからね。

しげかず 田中さんは係長で職責的にもかなり下だった。

水落 歴史を研究するというのと歴史学を研究するというのは別な話だから。色々と検証をするというのは。上がっていないことも一杯ありますからね。

今西 今までの歴史では表層しか扱ってないから。

水落 その中で真実は何か、真相は何かというのを皆さんの熱心な熱情に伝えて、山本が、「水落さん、そんなんこと言うと除名になるよ」なんてな。除名になるわけないんだよ、今。率直に言いますけど、俺の命が危ないということはありませんから。そんなものないかもしれない。それよりも閻魔様のお迎えが何時来るかが問題だけども。有難うございます。

(本稿は、2012年7月21日 10月13日に水内さん宅でお聞きした内容を、手島慶子氏が起こし、加筆したものである。話に重複があるが、深められている点も多いので、省略しないで掲載した。)